3—255

（明治四十四年[illegible]月一日第三種郵便物認可）（大正四年七月十五日發行）

（毎月一回十五日發行）

顧問 大隈重信　會長 島田三郎

同 森村市左衛門　副會長 安部磯雄

廓清

第五巻 第七號

■廓清時言……伊藤江南
□貞操問題に就て……安部磯雄
■學生廓清會を起すの儀……村松淺太郎
□盆踊を何と觀る歟……幸田露伴
■盆踊と青年の風儀……中照生
□純潔と信念……福來友吉
■眞を求めよ……福井壽郎
□虚僞を勸奬する制度……大場茂馬
■吉原と淺草との爭……大石末吉
□特別議會と瀆職問題……高島米峯
■小學兒童掃除問題……內ヶ崎教授其他
□聖書と醜業婦……山室軍平
■廓清會第四回總會記……白萩生
□沼南會の記……益富政助
■家庭と學校……安井哲子
□暑中と家庭……宮田脩
■熱血紅涙……會員の聲

東京 廓清會本部 發行

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

生理上正しき者は、
道德上正しき者なり。

スタンレー・ホール氏

ライオン齒磨は、
肉體の健康を增進し、
精神の快活を保障す。

ライオン齒磨・ライオン石鹼本舗

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

齒科治療 自午前六時 至午後十時

吉瀬(きせ)齒科醫院

東京市日本橋區坂本町三十番地

院長 吉瀬才市郎

簿記計理學生徒募集

本舘の特色 從來の實用的ならざる簿記學の弊を矯め、計理と實務とを結び付け、實務の練習珠算速法等に重きを置き、直に有用の材を作る

官廳、銀行、商業、農業、工業簿記科

各科共二ケ月卒業、豫科の設あり。

本舘の特典 本館學生には總て無代を以て講義錄を與ふるが故に學修上非常の便益あり、當分の內束修を免除し、卒業者には就職紹介の勞を執る

東京市神田區表猿樂町二一番地

東京簿記計理學館

さけきらいになる藥

身體無害 有効保證

禁酒丸

●定價 半週分六拾錢 ●貳週分壹圓九拾錢
一週分壹圓 ●三週分貳圓八拾錢

からだに少しもがいなくどんな酒●煙草のみでもきらいになり益々壯健になること保證早くためして御らんなさい

禁煙液

たばこきらいになる藥

―●定價五拾錢―●壹圓―●壹圓五拾錢●―

●●●郵券貳錢送附あれ兩藥の說明書送る●●●●

本舖 大阪靭南通二丁目 森田商店

●御送金は振替口座大阪貳二壹二六番

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

會告

廓清會本部移轉

今般廓清會本部を左記の處に移轉す

芝區三田四國町統一教會內

廓清會本部

電話芝五八五五番

山室軍平先生著
社會廓清論
廓清會員に限り
減價七拾錢
外に郵稅八錢

グレゴリー氏著
歐洲諸國醜業公認制度廢止運動
定價拾五錢
郵稅とも

伊藤秀吉氏編
娼妓自由廢業案內
定價拾五錢
郵稅とも

發行所　廓清會本部

支部分會を作れ

集合は力也會員各位の奮起團結を促す

廓清會支部準則

第一條　廓清會は各地に支部又は分會を置く

第二條　支部は貳拾名以上の會員所在地に之を置き分會は貳拾名未滿の會員所在地に之を置く

第三條　支部又は分會は其地方の市區町村名を以て之に冠す

第四條　支部又は分會に會員の互選を以て幹事を置く幹事の人員及任期は各部會に於て適宜之を定む

第五條　幹事は支部又は分會一切の事務を掌る

第六條　支部には支部員の推選により支部長を置くことを得

第七條　役員を推薦したる時は直に本部の承認を經可し

第八條　支部長所在地にありては支部長支部を代表し支部長なき支部又は分會にありては幹事之を代表す

第九條　支部及分會は每月壹回例會を開き、時々演說會、講演會、研究會等を開き、其他適宜の方法により本會の主義思想を宣傳し其地方の風敎道德問題の爲に努力するの義務あるものとす

第十條　支部及分會は本部に對し運動の爲め講師其他の應援者を要求することを得但之に要する實費は支部又は分會の負擔とす

第十一條　支部及分會の費用は其支部又は分會の負擔とす

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廓清

THE PURITY

大正四年七月

第五巻　第七號

廓清時言

戰爭と婦人問題

オリブシユライネルは婦人と雖も戰爭に從事するを得可しとて、婦人を完全に解放するに至らば婦人の能力も必ず男子に劣る可きに非ざるを極説せるが、今次の歐洲大戰亂に幾多の女性が干戈を執り戰陣に馳驅しつゝある旨露國方面より傳へられ、英國に於ては例のパンカースト女史頻りに婦人兵役論を力説しつゝあり。婦人の戰爭に對する適否は暫らく措き、戰爭により婦人の活動範圍の擴大せられ巡査運轉手其他職業の多方面に亙るに至りたるは驚く可き程にて、戰後に於て男女間の爭闘の激烈となるべきは想察するに餘りあり。然れども吾人は能力の上より婦人問題の解決を得んとする一派に左袒する能はず、吾人は男女の差別を信じ、同一の衡器によりて秤量せらる可きものに非ずとなす。少くとも姙娠が女子の特權たる間は、男子は男子として尊かる可く、女子は女子として尊し。腦の何處やらが何瓦などいふ事にのみ沒頭して、依て以て地位の差等を知らんとするが如きは抑々誤れり。

兒童夕刊賣問題

電車乘換への要所々々に、まだ十歳になるやならずの遊び度い盛りの兒童が、哀れに疲れたる聲を張上げつゝあるを見る毎に、吾人は文明の慘ましさを痛感せずんばあらず。大阪に於ける小河博士等の救濟研究會が之を問題としたるは眞に其處也。而して何故東京市に於ては之が研究の等閑に附せらるゝか、兒童の街頭勞働の如きは都市の體面の上より見るも人道上

速に禁止して、他方彼等の救濟法を講ずべきに非ざるか。

吉原と淺草との爭

近來の出來事の內、吉原と淺草の爭ひ位醜の醜なるものはあらざる可し。紛爭の要領は此頃吉原の衰微甚しく嫖客は大概淺草の私娼に吸集せらるゝより、淺草區會を丸め込み、同地の私娼が區の風紀を亂し衞生を惡くするとの理由を以て放逐すべしとの決議をなさしめ、警視廳に迫るに至りしより、淺草魔窟連の憤慨一方ならず、二萬圓を支出して驅黴院を設くる事等種々の對抗策を講じ、遂に私娼擁護演說會を開くに至りぬ。茲に於てか吉原側の野次夥しく會場に入り込み、壇上の辯士と公娼私娼の優劣を爭ふ奇觀を呈したり。

吾人を以て之を見れば共に之れ汚穢屋の爭にして、汝の便の方が臭し、否汝の糞の方臭しなどいふ鼻持のならぬ爭也。吾人は廢娼演說會を開くだに之を社會の耻辱とす、然るに淫賣擁護演說會の公開せられ、世之を怪しまざるに至つては社會的良心の痲痺悲しむに堪へたらずや。

婦人會の活動

我國には愛國婦人會を始め、大小幾多の婦人團體あれど、彼等婦人會は一體何をなしつゝあるにや、更に社會的に意義ある活動をなさゞるは遺憾也。頃者伯耳義救助の同情會の如き、花の日會の企ての如き、東洋婦人會の日支交歡の如き稍ゝ見る可きものあり、併乍彼等幾多の婦人會が、吾人の運動に對して幾何の理解も共鳴も感せざるが如きを思ふ每に日本婦人の地位向上の前途の遼遠なるを歎せずんばあらず。

下女市と娼妓市

山口縣豐浦郡瀧部村には「下女市」なるもの行はれ、去る六月一日早朝より數十の下女風呂敷包を抱へ雛の陳列の如く町の兩側に腰掛け雇主の來るを待ち、それを雇入れんとする人は街路を通行して左右を見廻し氣に入つた女を見立て、直接談判を開始し値段合へば連れ歸る樣緣日商人の如しと。而して報知新聞は右の報道をなし「聖世の今日あるまじき奇習」なりといふ。然り之れ誠に奇習なり、然れども試に遊廓を見よ、之れ實に年中開店の淫賣市にあらずや。吾人は報知新聞記者と共に所謂下女市を奇習なりと信ずると共に、今日の遊廓を以て更に聖世にあるまじき奇習なりと感ずるものなり。

御大典と花柳界

今秋御擧行の御大典に就ては、如何にして奉祝の誠意を表すべきか億兆の等しく腦裡に去來しつゝある問題ならん。然れども本來藝娼妓の類は、其生活が人倫道德に背反し社會の風教を紊亂する行爲なるが故に、御大典の際の如きは謹愼其業を休み、出來得可くんば正業に轉じて奉祝の誠意を表す可きものなるべし。而も各地遊廓が踊りの類を催ほし、藝妓は大小の宴席に媚を鬻がん爲め今より腕によりをかけつゝある由、更に甚しきは宇都宮花柳界に於ては御大典を紀念に藝妓學校を起し、藝妓の養成所を作るの計畫ありといふ。(江南)

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

貞操問題に就て

早稻田大學教授
廓清會副會長　安部磯雄

□男女共に守る可し

貞操の問題は、近頃の婦人雜誌等で盛んに論ぜられて居る問題である。之に對して私はなるべく注意して廣く見て居た積りであるが、或はまだ觀察の足らない處があるかも知れないけれども、先づ私の見る處に於ては、之等新しい議論の歸着點は大概相似て居るやうに思ふ。

それは從來第一貞操と云はれて居るのは、婦人に要求することであつて、既婚の婦人が夫に死別れた場合は、再び結婚してはならない、何處迄も貞操を守れといふのであるが、併し乍ら新しい人はそれは無理だといふのである。此點に於ては新しい人に限らず古い人も男女共不平を唱へてゐる。更に第三帝國の松本悟郎君は『貞操は道德に非ず』といふ樣な事を書いてゐる。之れは一寸聞くと如何にも氣に觸る樣な言葉であるが、其内容は決して不思議な說ではない。若し貞操を狹い說に取つて貞女兩夫に見へずいふものだとすれば、道德たる事を得ぬかも知れぬ。昔から歷史を見ると男が女を養ふてゐる。女は男に養はれて生活する其代りに、其男以外には見へぬといふ契約をする、別段言葉で表はして契約するといふ譯でなくとも、男子のさうした要求に應ずる習慣が出來上つて、それが貞操であるといふならば、甚しい不道理である。生きてゐる時は男子にも女子にも貞操はある筈だが、配偶者の一方が死んだ場合は、男子は自由に結婚を許されて、女子にばかり再婚を許さないといふ事はない。『若しそれが道德であるならばそは畢竟奴隷道德に過ぎぬ』と久津見蕨村君なども云つて居る。

これは私とても贊成である。貞操は決してさういふ窮屈な道德律ではない。再婚しないのが貞女となるとそれは大場博士の所謂虛僞を敎へるものである。私共の考は女子に貞操を望むのみならず、女子が生存してゐる間は男子にも同樣に貞操を望むものである。

□貞操は道德以上なり

然らば結婚しない男女は如何であるかといふと、これは色々の議論がある。夫婦になつてからは貞操は必要であるが、其前後に於て律する事は出來ぬといふ人がある。一體今日の男女に就ての世の思想といふものは餘り自由で放埒に過ぎる傾向あるは否定する事が出來ぬ。私の立場は極めて簡單であ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

る。なる程夫婦の一方が死んだ後、一方が貞操といふ樣な窮屈な道德に縛らるべきでない。私は貞操といふ事が松本君の樣な狹い意味なら道德に非ずと云ひ得ると思ふ。併し乍ら貞操といふ言葉は英語のピユーリテイといふ事であつて、青年男女が共に守る可きものである。貞操は道德に非ずといふ樣な言葉は、私は或は誤解を生じて結婚前の青年男女の貞操が穢れないかを恐れる。此の爲めに私は他の實例を取つて話して見たい。

世の中には萬人に强ゆる事は出來ぬが自分に行れるなら行つて見たいと思ふものがある。またさういふものを外の人がやつて非常に立派だと考へる事がある。萬人に法律として强ひるのは六ケ敷いが、やつて見るのは美しいといふ樣な事は澤山ある。たとへば昔天皇陛下が崩ぜられると殉死といふ事が行はれた。封建時代には藩主が死ぬと特別の恩顧を受けた者は追腹をするといふ風習があつた。今日は勿論なくなつて道德でないのは云ふ迄もない。即ち殉死は道德に非ずである。が、然らば乃木大將の場合はどうであるかそれを問ひたい。大將の自殺に就ては自殺を絕對に反對する人達はやはり非難をしたやうであるけれども日本の多數の人は乃木大將の行爲でなく其心事を考ふる時に於て、滿腔の敬慕を拂はぬ譯に行かなかつた。殉死は勿論道德に非ずである。乍併此の乃木大將の如き殉死の形を以て現れるとすれば如何。萬人に道德として守つて貰はねばならぬとは思はないにも不拘、人々は崇敬の念を禁じ得ぬではないか。之を何と說明せんとするのであるか。

今一つ他の例を擧げれば、今日迄最も多く讀まれてゐる讀物は何であるかと云へば、赤穗義士の話である。之れ位日本人の思想を支配してゐるものはなからうと思はれるが、これ亦今日は勿論德川時代の封建政治も法律の上に許さない處のものをやつたのであつて、萬人に大石良雄の如かれとは封建時代の道德すら云ひ得なかつた。而も此の道德に非るものが何故これ程迄人の心を沸き立たせるであらうか。そこで私は言ひたい、道德に非ずと云ふのは道德以下であるといふ事には限らぬ。即ち此等の例は道德に非ずではあるが、それは道德以下といふ意味でなくして道德以上であるといふ事である。貞操の問題も亦然りで、道德律として萬人に守れとは强ひ得ぬが、道德以上の道德ではないかと思ふ。

□「美」の境地

誰でも知つてゐる彼のワシントンアービングのスケッチブツクの中に、ブロークンハートの話がある。話の筋は簡單で或る英吉利の一婦人に許嫁の男があつた。然るに鴛鴦の契りを結ぶに至らずして男は國事犯の爲めあはれ刑場の露と消えたのである。婦人の悲痛は云はずもあれ、やるに由なき彼女が滿幅の熱情は血ともなつたであらう淚ともなつたであらう。斯くして彼女の愛情は最早何人にも向ふ事が出來なかつた。處が茲に或男が、此婦人の高潔な感情に動かされ、非常な熱心を以て頻りに婦人に愛を求めたのである。婦人は勿論堅く

拒んで更に耳を傾けやうともしなかつたが、後にはあまりの熱心に動かされて遂に『貴方に私の手は與へる事は出來ますがハートを與へる事は出來ませぬ、それでも宜ければ』といふと、男は『それでも結構』であるといふ。男にしては自分の熱情でハート迄も熔かして見せるといふ積りで結婚した。そして密月の旅に伊太利に行た。然るに男の豫想ははづれて婦人は少しも心を男に許すことなく、段々衰へて死んだといふ様な事が、アービングの靈妙な筆で巧みに描かれてゐる。

ところがアービング自身實は斯うした經驗を持つてゐるのである。彼も亦或婦人と婚約があつた。そしてこれは婦人の方が死んだのである。アービングは文豪であつて一方に歴史家であり且つ政治家であつた。西班牙の公使などをやつて七十幾歳の高齢を以て死んだが、遂に彼は一生他の婦人に心を移す事を得ずして獨身で了つたのである。(詳しい事は本誌第四巻第三號『公娼廢止後の大問題』中に述べたから就て一覽を乞ふ)アービングには斯うしたローマンチックな物語りがあつて、嘗て黒岩君が萬朝報に三回續けて書た事がある。確か今度出た氏の著述中の目次に出てゐると思ふが、其題を何とつけたかといふと『人情美』とつけた。甚だ面白いと思ふ。これは貞操といふ様なものと見るべきでない、最早道徳の境を超へて『美』の境に這入つてゐるのである。

これが即ち私共の考へる貞操觀である、狭い意味の貞操は普通の道德を以て要求することは出來ぬ。けれども、道德に非ずといふは道德以上『美』の境地に這入つてゐる事なりと考へたなら、今日の如く青年男女が放埒に移りつゝあるの時、吾人は貞操は道德に非ずと云はずして、道德以上なりと考へる事の必要を思ふものである。

兒童掃除問題(1)

▼安部磯雄氏曰く、兒童に掃除をさせる事の不可なるは明白な問題で、私などは多年此事を説き來つたのであるが今日迄は世人の注意を引かなかつた。私などは現に子供を亡くして居る。それは後頭部に結核性腦膜炎を發したのであつて醫師のいふ處によると、耳からか鼻からか結核菌が這入つたからで、決して内部からではないといふ事である、多分私は學校の掃除などから斯ういふ事になつたのだらうと思ふ。

▼内ケ崎作三郎氏曰く、僕は別段考へて居らぬ。僕の子供も問題の起つた高師の附屬に出してゐるが、子供のいふ處によると、何そんなに汚くないさうだよ、さう矢釜しく騒ぐ程の問題ぢやなかないかと思ふ。

▼高島米峰氏曰く、私は絶對に廢止しなくともいゝが、今日の様なハタキをかけて埃りを舞はせる様な非衛生的の掃除法を行つてゐるのに對しては反對である。併し今回の事件で面白い事には當の問題の高師以外の學校で、大分考へて來て、中には箒で掃く事だけは小使にやらせ雜巾だけをかけさせるやうになつた處もある。兎も角問題が起り世間が考へるといふ事はよいことだ。

純潔と信念

文學博士　福來友吉

□妄りに壓抑するは非也

國民活動の盛んな處には文學は起らない、日本の如く戰爭ばかりしてゐた國は武士道の如き無形の精神を成長し遺傳したけれども、文學の見るに足るものはない、文學は壓迫から生れる、生活としては文學や哲學は第二義のものである。第一義はどうしても肉である。

然るに今日の政府のやり方は、たゞ無闇と壓迫を加へて居るやうに思はれる。盆踊りの如きも左樣である。私の考では一町一村の人が盆踊りなり其他の形を以て、相集まつて遊戯をするのは良い事であると思ふ。生命といふものは機械ではない、不斷に成長するものであるから、妄りに壓迫を加へやうとしても、其のエナージーを爆發させずには居られない筈のものであつて、盆踊やお祭騷ぎの如きは、私は心理的に良い事であり、其弊害を防ぐ方法を講じて行らしむべきであると思つてゐる。

公娼問題の如きも、遊廓制を布いて他に一般の賣淫を之によつて取締らうとするのは、無理な注文である。

□眞に創造の生活を起せ

一體此の生命などいふ問題が、更に世人に理解されて居らぬから困る。近頃の若い文學者等が、創造が何うの斯うのと八釜しく云つてゐるけれども、彼等に眞實の創造などありはしない。彼等の云ふ處はたゞ舊慣に新名を附した迄の事である。創造といふものは何うにも斯うにも出來ないどんづまり迄行き詰まつて、千仭の斷涯に立つた時始めて生れる然るに彼等の輩は、常に躊躇逡巡到底際どい處迄行く勇氣がない、左顧右眄宜い加減な處でいつか廻轉してゐる、そんな生温い事でどうして潑剌たる創造が生れやう。

これを透視や念寫の方面から云つても全く『我』を去つて無我の境、ピユーアスピリットになつて始めて行はれる。意識を超越したる境地に這入つて始めて透視や念寫の如き偉大な驚歎すべき精神活動が始まる、意識を超越するといふ事が盲目を意味するのでないは勿論である。

□純潔ならざる者は滅ぶ

Purity といふ事が人間生活と如何なる交涉乃至價値があるかといふと、ピユーリテイは純潔または清淨とも譯す事が出來やう、更に三昧とも言ひ得るであらう。即ち私の考では純潔三昧 Purity 若くは Sincerity でないものは滅ぶ、之れか

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

らの社會は段々純潔とか眞劍とかいふ事でなくてはならなくなる、何故ならそれが最も活動的で、生存競爭に優勝を占め、之れに反するものが淘汰せられるのが進化の法則であるからで、戀の問題にしても亦左樣であり、凡て純潔と眞誠とが世界を支配するに至るであらうと思ふ。

次から次に爆發せずには居られない不斷の成長をなしつゝあるエナージーを壓へつける事は、全く不可能であると共に此のエナージーを他の善良な方面に向つて爆發させる方法を講究する事も最も大切であるから、問題は最後にどうしても信念といふ處に歸着する、私は問題を必ず茲に持つて來るのであるが、却つて今日の宗教家が誰も彼も科學に適應はせやう科學に反しまいと努めて居るのを見る毎に、私は不甲斐なく思はずには居られない。

宗教は本來時空を超越したる科學以上のものである、然るを時空の範疇内に立てられたる科學に合はせるならば、疑もなく宗教の墮落である、科學に反するのが何故怖いか、科學が眞理の總てゞあるか、科學が生命の問題に幾何の解決を與へ得たか、念寫や透視をサイエンスが説明し得るか、究竟廓清會の運動も、信念といふ處に基礎を置かなくてはなるまいと思ふ。（畢）

學生廓清會運動を起すの議

神戸青年會長　村松淺太郎

私の考へでは今日何よりも必要なる廓清運動は學生廓清會の事である、而して又其最も効果ある運動も亦、學生廓清會であると信ずる。つまり何にも六ケ敷い事はない、學生をして大門をくゞらせない事だ。而して其の取締の方法は先づ第一學生自身にさせるのである、我々は即ち學校方の謂はゞ警察官といふ役を勤めて、常に學生の遊興者に注意し、之を學校に密告する。之には各學校長、大學總長も一人と雖も反對はなからうと思ふ。而して若しそれが出來て即ち此廓清會が學生の品行監督をするといふことになれば、世の父兄たるものゝ喜びは眞に夥だしいものである。又之を國家の見地より見るも、學生は實に其國青年の品行を代表するものである。某氏は『汝の國の青年を余に示せ、余汝の國の將來を預言せん』と言つたといふ。青年は第二の國民たるものであり、別けて學生は其青年中の選良である。然るに其次代の國家を雙肩に荷ふの責任と抱負とを有すべき今日の學生が、遊里に足を踏み入れて放蕩者の眞似などをするとは怪しからぬ話だ、況や其の金といふものも、自ら額汗して取りたるものなら多少恕すべき點もあるかも知れぬが、大切なる學資として送金して來た父兄の汗の塊をばあたら賤業婦の爲に費消するといふに至つては、罪實に重しと曰はねばならぬ。然るに悲しむべきかな今や學生の墮落日に日に甚しきを見る、我輩は廓清會が是非とも此方面に一事業を企畫し、盛んに之が爲に盡力せんことを切望するものである、若し夫れ一度此運動を起さんか、之れに要する資金の如きは望まずして必ず集り來るに違ひはない、是非斷行を望む。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

聖書と醜業婦

救世軍書記長官
廓清會評議員　山室軍平

◎昔から在つたもの

聖書を讀んで、殊に其中にある醜業婦に付ての記事を調べて見るに、先づ心付くことは醜業婦と云ふものが、隨分昔からあつた者だと云ふことである。卽ち創世記の第卅八章にタマルと云ふ婦人が、娼妓の樣な風をして舅のユダに見えたと云ふ記事の如きは、恐らく世界で最も古い醜業婦に付ての記錄かとも察せらるゝ。而して其被衣を以て身を蔽ひ、面を蔽ひ、又山羊の羔を貰ふ約束をした杯いふことは、當時此ういふ社會の風俗の一斑を示す者かと思はれます。

◎是は罪深い業である

娼妓は罪深い業である。人の財産をつぶさせ、一身一家を誤らせ、又人を永遠の滅亡に墮す者であるとは、懇ろに聖書に敎へてある敎訓であります。

娼妓の口唇は蜜を滴らし其口は脂よりも滑かなり、然れども其終は茵蔯の如くに苦く兩刃の劍の如くに利し。其足は死に下り其歩みは陰府に赴く。彼は生命の途に入ず其徑はさだかならねども自ら之を知らざるなり。(箴五〇三至六)

夫れ娼妓の爲に人は唯僅に一撮の糧を殘すのみに至る。又淫婦は人の貴き生命を求むるなり。(箴六〇廿六)

汝の心を淫婦の道に傾くること勿れ、又之が徑に迷ふこと勿れ、それは彼は多くの人を傷けて仆せり。彼に殺されたる者ぞ多かる。其家は陰府の途にして死の室に下り行く。(箴七〇廿五至廿七)

此等は其著るしい例である。

◎娘を娼妓とする勿れ

隨つて神樣を信仰する人間は、其娘を醜業婦にしてはならぬ筈である。其國民の中から娼妓を營む樣な婦人を出してはなりませぬ。卽ちヤコブの子等は「我等の妹を娼妓の如くして可からんや」と呼んで、シケムの町に攻め入つたと云ふことがある。(創卅四)又モーゼの律法には、

汝の女子を汚して娼妓の業を爲さしむ可からず、恐くは淫事國に行はれ、罪惡國に滿たん。(利十九〇廿九)

と云ふ明文があります。今から三千四百年も前に、既に此ういふ立派な法律を以て國を治めた例さへあるに、三千四百年後の今日、我東洋の君子國日本に於ては、白晝公然、市中

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

で一番立派な家を構へて淫賣をする數萬の婦人があり、それでも尙あき足らず、世界各國へ廣く醜業婦を輸出して居ると云ふに至つては何といふ情けないことであるか。誠にモーセが言たる如く、其同胞姉妹を娼妓にする國民の間には「淫事國に行はれ、罪惡國に滿つる」悲しむ可き事實を眼の前に見て居る樣な次第であります。

◎醜業婦に戯むるゝ勿れ

娼妓は此の如く罪深い業である。國を禍ひし、人を滅ぼすものであります。其故に眞面目な人間が此ういふ者に戯れてならぬことは申す迄も無い處で、其は前に引たる箴言の中にも明白に敎へてありまするが、念の爲に尙一つ新約聖書の中から、其れに付ての戒を擧ぐれば、爾曹の身は基督の肢なるを知らざるか、我基督の肢を娼妓の肢として可らんや、可らざるなり。娼妓に合ものは彼と一つ體となるを知らざるか、蓋し二人のもの一體となる可しと云給ひたれば也。(哥前六章)

など最も明白なる敎訓であると云はねばならぬ。彼の神佛を念じ、御經を唱ふる口から端歌都々逸をうたひ、信心家と稱へられ乍ら、放蕩三昧の行爲をして耻ない樣な風の宗旨は何ぼう盛に行はれても、更に世の中に益がないことであります。

◎基督は醜業婦を救ふ

娼妓は此の如く罪深い業を營む者である。然り乍ら救主基督は此る墮落したる婦人をさへも救ひ給ひます。加之、基督は世の中の高慢なる似而非道德家よりも娼妓や惡黨などの方が、却て天國に入ることが容易いとさへ、御敎訓になつて居ります。

爾曹如何に思ふや、或人二人の子ありしが長子に來りて曰けるは子よ今日わが葡萄園に行き働け、答へて否と曰しが後悔て往きたり。又次子にも、前の如く曰けるが答へて父よ我往くべしと曰しが遂に往ざりき。此二人の者孰か父の旨に遵ひし。彼等曰けるは長子なり。耶蘇彼等に曰けるは誠に爾曹に告げん、稅吏及び娼妓は爾曹より先に神の國に入る可し。(太二十一章)

何と有難い神樣の思召ではありませぬか。一旦罪に汚れたる婦人達も失望せず基督にお賴りなさい。神は喜んであなた方を救ふて、潔白無垢の人となし給ひます。

◎墮落婦人に救はれし例

操を穢したる婦人達が神樣を信仰し、基督に救はれて其心を入更へられ、淸く正しい人間となつたる例は、聖書の中に澤山あります。最も昔ではラハブと云ふ婦人が、娼妓であつたにも拘はらず後には救主の先祖の一人と數へられたる如き新約聖書に於ては又彼七の惡鬼を逐れたといふ、マグダラのマリヤの如きは其穢れたる身を神樣に獻げて潔く有益なる婦人として載たる最も著しい例であります。其他五六人も亭主を持換たる、サマリヤの婦(約四章)許嫁中に不義をして

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

其場で捕へられたる一婦人（約八章）或は邑中一等の惡い女と呼ばれたる婦人にて、御飯中に耶蘇の足下に來て悔改めたる者の如き（路七章）醜業婦、又は墮落婦人が耶蘇に救はれて、操正しく、信仰篤き、立派な婦人となつたる實例は、古今に多いことであります。救の神樣を讃よ！

◎淫亂國民の義罰

神樣は此く慈悲に富み給ふ御方故、如何なる墮落の人と雖も、若し眞に悔改めて、基督を信仰するならば、其罪を赦して更生りたる人間となし給ふ。然り乍ら神樣は又正義の神樣である。神樣は姑息の愛をほどこし給ふ御方でなく、必ず重ね〴〵罪を犯して悔ゆることをせぬ者共を罰し給ひます。ノアの大洪水は殊に其時代の淫亂を罰し給ふた者である。ソドム、ゴモラの、天罰は亦其人民が不潔なる行爲に耽りたる報であります。而してカンナの人民が以色列の前に逐拂はれたるは同じく其放浪淫亂の罰に由る事が最も多い樣に見へる。汝等は此諸々の事を以て身を汚す勿れ、我が汝等の前に逐拂ふ國々の人は、此諸々の事によりて汚れ、其地も亦汚る是を以て我其惡の爲に之を罰す、其地も亦自ら其處に住る民を吐出す也。（利十八章）先頃も彼セルビヤ國王及妃殿下、暴徒の爲に逆殺せられたと云ふ事がある。而して其起りは妃殿下が前の夫なる陸軍少將某を離縁して勝手に國王（當時皇太子）に嫁ぎ、宮中を亂したることが、最も大なる原因の樣に聞及ぶ。其故に叅謀總長の如きは此を「神の審判なり」と論じて居られます、神樣は淫亂なる國をも、民をも、其儘に爲し給はぬ者である。

◎偶像禮拜は姦淫なり

今一つ序に附加へて考へて置く可き時は、聖書に、眞の神樣を敬はず、偶像を拜み、身勝手なる行爲をすることを、凡て姦淫するもの、娼妓に行く者と同じ樣に戒めてあることである。眞の神樣は私共の靈魂上の夫である。私共は此一人の夫に貞節を盡し、一意專心其思召に合ふことを行ふべきものである。神樣を餘所にして木佛金佛を拜ではならないは勿論のこと、名譽をも地位をも、財產をも、衣裳をも、浮た樂をも凡て神樣より大事がるのは皆不貞である、不義である、娼妓に心を奪はるゝ遊冶郎の如きものであり升、此事に付ては舊約のイザヤ、エレミヤ、エゼキエル、ホゼヤ、等の書を見れば、繰返し〳〵嚴重に戒めてある事を見出すでありませう。

各地救世軍の活動

▲**三重縣**　下に於ては、本會員にして救世軍士官たる服部丹堂氏は一大活動を開始し四日市を根據として、桑名、津等三重縣下の各遊廓に挑戰して縣下の遊廓に大恐慌を起さしめ、花々しき奮鬪を續けつゝあり

▲**松山市**　に於ては、大阪より轉勤したる田中大尉活動を始め、同地遊廓を震駭しつゝあり

▲**福島市**　に於ても、同地救世軍小隊盛んに活動を始め自由廢業の火の手熾なりと傳へらる

眞に聖書を讀む者は必ずや斯くの如く立たねばなるまい

盆踊りを如何に見るか

文學博士　幸田露伴

私は盆踊りが風俗上何ういふ樣な影響があるか、怎麽風に各地に行はれてゐるか、其可否又は改良策といふやうな事に就ては別段調べた事も考へた事もないが盆と踊りとは全く別物であらうと思ふ。

盆といふのはいふ迄もなく盂蘭盆の約つたので、死んだ者が現世に犯した罪に責められる其苦惱を救はふといふ處から供養する靈祭りであつた。一體佛教には孝行といふ事を餘り說いてないのであるが、盂蘭盆經などいふ經文があつて、其事が詳しく書いてあり、支那では唐あたりに大分盛んに行はれ、日本の文明は唐の模倣と云つてもいゝ位であるから、やはり之を眞似て行る事となつたものと見ゆる。

斯うして考へて見ると盆といふものは。さう浮れ騷ぐやうな性質のものでないのに、どうして這麽踊りが結び付かつたかといふと、之れは格別な意味はない、我國には餘程古くから男女が野外に於て戯れ遊ぶといふ風習があつて、萬葉集あたりにも見ゆる彼の嬥歌の變形したものが、恰も夏の夜といふ時候の關係から結び付いたものであらうかと思はれる。

嬥歌といふのは野外に男女が集まつて、互に歌を詠み和らぎ遊ぶのであつて、先づそれがいつか次第に變形して集ひ踊るといふ風になつたものであらう。

然らば此踊りをどうしたらよいかといふと、私はこれを廢止して了はなくともいゝと考へる。廢止を要するものはまだ外に澤山ある。盆踊りはいはゞ西洋のダンスである。野外と室內との差こそあれ、少しも變りはない。村落の淫風を煽るものは私は寧ろだるまの如きものであると考へる。却つてこれは男女交際の機關として淸く保たしめて行くやうに工夫をしたならば、之によつて逆しまに風教を匡ふ事も强ち不可能事ではない。

盆踊りが不可いとならば野馬追ひの如きも同樣であらう。野馬追は妙見を祭つてある處には何處にもあるやうであるが東京近くでは秩父、相馬は最も世に聞へてゐて、男女が此時に嬉戯する事は、殆んど盆踊りと變りがない。けれどもさう酷く風俗を紊す程のものではないと思ふ。尤も大原の雜魚寢の如き所もあるから一概には云へないし、歌なども大分淫靡なやうであるからよろしく土地と習俗に應じて之れを化醇するやうにしたいと思ふ。折角の古俗を弊害の一面のみを見て改良善導するを思はず禁止壓迫するが如きは私は贊同する能はざる處である。(談)

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

盆踊りと青年の風教

麻布青年會員　中　照生

今年の盂蘭盆が來た。大正の聖代或る地方では、未だ舊い習慣に囚はれて夜間を利用して、盛んに盆踊りが青年男女によつて行はれるといふ事である。

盆踊り必ずしも惡い事ではないが盆踊りなるものに因つて青年男女の間に忌はしい事がないであらうか、吾人は吾人の立場として少しく考へて見たいと思ふものである。

第一盂蘭盆會といふものは如何いふ意義のものであらうか盂蘭盆とは陰暦七月十五日父母並に祖先の亡靈を供養して倒懸の苦を救ふ事で、即ち佛經から初まつたものである。

盂蘭盆經及六十三套報恩奉盆經によれば、佛の弟子中に其の名ある目蓮が、始めて神通を得て父母の爲め乳哺の恩に報ひやうと、道眼を以て世間を觀視せしに、亡母が餓鬼中に在つて飢渇に苦んでゐたので、目蓮は即ち鉢に飯を盛つて其の母に差上げた所、食が未だ口に入ない中に火炎と化つて喰ふ事が出來ないのである。目蓮は之を見て悲號涕泣して佛に救を乞ふた。此時佛は目蓮の母の罪根が深くて目蓮一人の力では如何とも救ひ難きを以て、十方衆僧威神の力によつて解脱せしむべき事を告げたのである。そこで目蓮は七月十五日僧自恣の日に衆僧を供養して、法會を營んだのである。目蓮の母は其の功德によつて善處に生じたといふことである。之れが即ち盂蘭盆會なるものゝ濫觴である。

爾後、支那では梁の武帝の大同四年始めて修められ、我國では齊明天皇の三年七月十五日須彌山の像を飛鳥寺の西に作つて盂蘭盆會を設けたといふ事である。

それが一般に平民的佛教が流布して空世の念佛から鉢叩き放下僧といふやうなものが出來、親鸞の念佛踊り、祭文順禮といふやうなものが出來、その他歌舞演戲語物等が出來て、然うしたものが轉化して今日の所謂盆踊りとなつたものと思はれる。之によつて考へると父母並に祖先の亡靈を祭つて其の罪根を救ふ爲めに供養するのが、盂蘭盆會なるものゝ意義である。

さすれば之を行ふ子であり孫である青年男女は、最も謹愼を表すべき祭りなのではあるまいか。

吾人は佛教の盂蘭盆會によつて、果して亡靈の罪根が救はれるか如何かは知らないが、吾人は生存してゐる中に、汝の父母兄弟並に汝自身が救はれるといふ事を考へたいのである姦淫よ、無節操よ、それは汝の兄弟を汝自身を罪に陷るゝ第一步である、第二步である、第三步である。淡く過ぎ行く快樂に、深く悔恨を殘すことは我等の苦痛堪へざる處である神は晝も夜も常に恒に我等を見そなはしてゐる、我等は胸に手をあてゝ心に恥ない事を考へたい、特に來るべき盂蘭盆會に際して盆踊りに參加する若い人達と共に考へたいのである

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

虚僞を勸奬する制度を改む可し

衆議院議員
法學博士　大場茂馬

□正義人道を基礎とす

法律は勿論人間行爲の規則であり、正義人道を基本としなければならぬ。政治といふのは元來祭り事で、支那等に於ては祖宗を祭る若くば天を祭るのであつて、基督教主義の神を祭るとは意味が違ひ、國を本位として國の根本たる祖先を祭らうといふ嚴肅な處から發してゐる。

支那の政といふ字は正しいといふ扁に文を書き、正しいといふ事の内に最も正しいといふ意味を有つてゐるのである。文は即ち粗野の反對で、レファインされた正しいといふ意味がある。文明でも野蠻でも正しいといふ事は善なる事に違ひないが、野蠻の正しいでなく、文明にされた正しいといふ意味を有つてゐるのであつて、政は詮する所正と同義である。

一國の政治は要するに法律制度を基本として運用するものであつて、既に法律制度が正義人道に基を置くとしたならば政治が常に正義に則らねばならぬのは言を俟たぬ。如何なる場合に於ても虚僞を許さない、若し其間に虚僞があつたならば、それは法律若くば制度の特質に矛盾するものであつて、此場合法律制度は存在せずして之に代る處の法律たる名前を装へる僞りの物が存在し、制度たる外觀を有する處の僞りの物が存在してゐるのだとせねばならぬ。若し一國の法律若くば制度にして假りにも虚僞を奬勵し、或は勸告するが如きものあらば咄々一大怪事といふ可く、之に反して正義人道に合する事が深ければ深い程厚ければ厚い程、其法律制度は最も進歩したるものであり、理想に接近したるものであるといはねばならぬ。如何なる人と雖も法律を定め制度を設くるに當つては、此點に着眼しない者はなからうけれど、世の進歩と共に社會の事情は複雜になるものであるからして、充分に研究に研究を積み、良意誠心を以て制定したる法律制度の内にも、往々にして虚僞を奬勵し若くば勸告するものあるは神ならぬ人の定むるものたる以上、免れ難き處なるべきも、亦甚だ遺憾の事である。

□虚僞勸奬の制度

若し法律制度にして虚僞を奬勵し、又は勸告するが如きもののあるを發見したとするならば、社會風敎の上よりするも、法律制度の本質を全からしむる上よりするも、一日も早く廓淸を要すべきは何人も首肯する處であらうと思ふ。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

然らば翻つて我國の法律制度の實際は如何、果して斯くの如きものがないであらうか、不幸にして私は日本の法律制度が虚僞を奬勵し又は勸告する場合の全部を茲に列擧し盡す事の出來ない程多數に知つてゐる。で止むを得ず茲には其二三を例證して、而して他の物に對しては識者の類推を乞はうと思ふ。

先づ最も分り易い例は、死骸に對する任官命令である、既に死んで了つた事が新聞等で傳へられ、萬人公知の間にあり乍ら、尚且つ生きてゐる體にして任官昇叙などを行ふのは明に國民に虚僞を奬勵し又は勸告してゐるものであつて、國民が平然之を看過してゐるだけ、風教の上に及ぼす影響の甚大なるものあるを悟らねばならぬ。嚢の阿部政務局長が伯耳義の公使に任命せられたるが如きは、蓋し其甚しきものである。

更に辭職などの場合を見るに、老衰任に堪えずとか、隱居をするとかいふ樣な事を申出る例になつてゐる、が事實は左迄年を老つてゐる譯でもなく、隱居もせず、たゞ辭職の口實として平氣で虚僞を行ふ國民の習慣がある。

□選擧取締法の不法

最近殊に吾人の痛嘆に堪へざるものは選擧法の取締である職務上自分は之れに對する違反事件を多數に取扱つたのであるが、選擧法に對する私の心證と云へば、正直清廉な人程此取締に觸れ、すれつからしの所謂政治屋運動屋の、實際狡猾にして取締を要すべき者程遁れてゐるといふ事である。試みに衆議院議員選擧法第十一章罰則第八十七條を見ると、

一、選擧に關し直接又は間接に金錢、物品、手形、其他の利害若くば公私の職務を選擧人又は選擧運動者に供與し又は供與せんことを申込みたる者、又は供與若くば申込を承諾せむことを周旋勸誘したる者、並供與を受け若くば申込を承諾したる者

は罰せられるのである。併し運動員が候補者に向つて『先生豫てお世話になつてゐますから、極力御當選なさるやう運動します』と云へば候補者は必ず『どうかよろしく賴む』といふであらうし、運動員が更に言葉をついで『就ては先生私は目下職業がなくて困つてゐるんですが、選擧でも濟みましたら、何處かへお世話なすつて下さい』と云ふ事は、實際無職の場合なら誰しもいふであらうし、候補者の方でも其申込を承諾するのは道德的に當然の事で、決して不思議はない。勞に酬ひる報酬ではなく、恩に報ひるものであつて報恩といふ事は必ずしも上から下へと限らない、即ち報恩の道德が選擧法の違犯となるから奇怪千萬で、正直な者は別段惡い事だと思はぬから、其ういふ申込をしたかと云へば『はい』と答へるから直に罪になるし、すれつからしの方は『いゝえ其麼申込などはしない』と虚僞を述べて罪を免れる。斯くの如きは最も明白に國民に虚僞を勸告し奬勵するものであつて、現に大阪では正直な者が此法に問はれて罪になり、目下控訴中である。更に第二項には

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

二、選擧に關し酒食、遊覽等其の方法及名儀の何たるを問はず人を饗應接待し又は饗應接待を受けたる者、又は選擧會場、開票所若は、投票所に往復する爲船車馬の類を供給し及其の供給を受けたる者又は旅費若は休泊料の類を代辨し及其代辨を受けたる者並に此等の約束を爲し又は約束を受けたる者

はまた罰せらるゝ事になつてゐる。けれども應援の演説などに來て呉れた人に辨當を出さぬといふ樣な事が出來やうか、其麽不義理な事は道徳上許されない、一々應援者に選擧法を講釋して斯ういふ事情だから、食事を出す事が出來ませんと斷らなければならぬといふ樣な不都合を生ずる、辛く大審院の新判決で食事だけは差支ない事になつたが、それとても平生三十錢の辨當を取つてる人ならば、それ以上の辨當を出したらすぐに違反である。平生三十錢の辨當を食ふ人なら選擧でなくとも應援の演説などを乞ひ、若くばして貰つた場合には一圓位の辨當を出すのは當前の事で、ビールの一本もつけなければ社交上不可い習慣になつてゐて、決して道徳的に不都合な行爲ではないのであるにも不拘、此道徳が許し、若しくば進んで道徳が命ずる行爲をも法律が所罰する結果は、勢ひ虚僞を述べて法網から免れやうとせざるを得ぬ事になるのであつて、やはり正直な者は五十錢の辨當をたべましたと云ふて罪になり、狡猾な人間は事實を否定して免れるといふ結果は、國民に虚僞を勸奬するといふ風致上にも由々敷惡影響を及ぼすのである。

□看過すべからざる大問題

要するに此選擧法は名は美であるが疑もなく國民に虚僞を勸奬するものであつて、決して輕々に看過す可からざる大なる社會問題である。

更に直接廓清會に關係したる方面にては、藝娼妓の養女制度の如き、或は實質なき貸座敷の如き、大に論じて見たいのであるが、此點は次の大會に出席して親しく諸君と研究して見やうと思ふから茲には省略するとして、唯一言、我國に虚僞を勸奬し若くば奬勵する制度の少からぬ事を告げて、識者の反省を促すに止める。(文責記者)

兒童掃除問題 (2)

▼幸田露伴氏曰く、私は掃除問題にしろ體罰問題にしろ斯ういふ問題は兒童の耳に入らないやうにして論じたかつた。可とするも非とするも之を兒童の耳に入れるのは教育上甚だよろしくない、掃除も體罰も大にやらせなければ、ほんとの教育といふものは出來るものでない。

▼宮田脩氏曰く、私は掃除はやらせるがいゝと思ふ。お姫樣やお殿樣を作るでない以上、自分の散かした處を自分で形づけるといふのは當然の事で、教育上是非さうなくてはならぬと思ふ。掃除と云つても水を撒いて掃くとか茶殼などを撒いて掃けば塵埃などは少しも立たない樣にされる。議論をするとなるとどうも直ぐ感情が加つて、どちらも感情の上からばかり議論を立てゝ困る。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

特別議會と瀆職問題

廓清會評議員　高島米峰

□國民を背景とせぬ議會

私は今回の特別議會が甚だ無意義に終つた事を悲しむものである。二個師團問題が通過したのは贊否種々の議論は別として、兎も角も國民の注目する處であつたが、其他に至つては一體何をやつてゐるのか、彼等の眼中國家も國民もなく、黨派の爭をのみ事として貴重な會期を過して了つたのは、我等國民の等しく心外に堪えない處でなくてはならぬ。

殊に今期の議會に於て代議士の品位の無くなつたのは著しい事實で、今議會に於ける下劣なる野次振りは到底紳士の聞くに堪えざるものであつた。元來野次は上品にやれば、千言萬語を費すよりも有效に敵の機鋒を挫く事の出來る面白いものであるが。此頃の野次に至つては愚劣卑陋極まるもので、士君子の耳を掩ふ程のものであつたが、此れは劣等な代議士が、せめて野次でなりと新聞に自分の名を書いて貰ひ、選擧區民に知らせやうとする、唾棄すべき考から來てゐるやうに思はれる。自黨の死活問題の爲めに足踏みして多少喧噪する位は、誠に止むを得ない事であらうが、國政を黨爭に供し、敵も味方も困るやうな野次が滔々風をなしてゐるなどは何たる事であるか、元來議會は言論の模範道場であらねばならぬ自分の議論を充分に喋る事が出來ないならば議會の必要はない。政友會が多數黨の時も隨分横暴を極めたが、今度の與黨も餘りに狹量である。通告の氏名の三分の一も終るか終らない内に討論終結の動議を出す必要はどうしてあるのか、一體議論をさせないで壓へ付けるといふのは、議會の機能を自ら縮めるものではないか、多數黨たるもの勝敗の數は明かである、よろしく雅量を示して充分に議論を盡さしめて採決するこそ、始めて立憲政治であり、國民を背景としたものであるといふ事も出來るのである。

□風教上の一問題

茲に風教上吾人の見逃す可からざるは内務大臣の瀆職問題である、一黨の領袖が其地位を抛つて國務大臣を告發し、遂に彈劾案となつて表はれたといふ事は、假令黨爭の爲めに仕組まれ、事實に遠い事であつたとしても、爲めに風敎の上に如何なる影響の及ぶかといふ事に就て、大に考慮すべき事ではあるまいかと思ふ。

本件に關聯して私の奇妙に感ずるのは、豫審と公判と被告

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

の陳述が常に異つてゐる事である。これは杜撰であるとしても警察の調書を加へて三つが三つ皆違つた陳述をする、これは一體どういふ心理狀態を示すものであらうか、一研究に値すると思ふ。本件に就て云へば、白川友一氏は委員會に於て豫審廷の申立を否認し、在監中であつたから大浦氏が受取られたものと思つて豫審では左樣に陳べたのであると云つてゐる。法律は有罪とするか無罪とするか、如何に決定を與へるとしても、本人は良心に顧みて疚しい處がないかどうか、そこが社會風教と接觸して大に攻究を要する點である。苟も國務大臣を糾彈し、大臣が罪を犯したか犯さぬかといふ大事件で、其判斷を下す豫審と公判と全く違つたといふ丈で、ほうつてよいかどうか。如何なる人も豫審で殊更に自分の知らぬ事を揑造して陳述するといふ事があり得るかどうか、豫審と公判とは寛嚴の差はあるであらう、如何に豫審が辛辣であるにしても無智の者ならいざ知らず、代議士ともあらうものが檢事輩の洞喝に怯へて心にもない事を云はうとは、常識から見てあり得ないやうに思ふ。すると豫審廷の陳述は良心の苛責に堪へず自分の罪を懺悔したものと見る可きかどうか、若し懺悔とするなら公判廷で非認するのは、咽喉下過ぎて熱さを忘れたものか、娑婆に出て見て正直な事をいふのが詰らなくなり、豫審の陳述を否認する事の出來る處から圖太い心になるのであらうか。

□責任の歸する處を明ほせよ

斯ういふ風に考へて見ると制度の上から否認してもよい樣な豫審をする必要があるかどうかを疑はずに居られない。大きな手數と費用とを費して結局公判廷で否認する事を認むるといふのは何の方面から云つても不經濟な話である。豫審で免訴になり放免になるのもあるが、之等は公判になつても放免になるかも知れないから、どの點に於て豫審の必要があるか、少くとも豫審をして今少し力あるものにして置かなくてはならないと思ふ。

併しそれは制度の罪ではない、被告人の道德的觀念の優劣に關するものとする事も出來やう、法律と道德との分岐點は茲にあるのだとも考へられやう。內務大臣瀆職事件が法律の上で內相なり白川氏なりが有罪になつても無罪になつても直に道德の上に無罪である有罪であると云へるかどうか、又假令白川代議士なりが個人として道德的に罪がないとして、社會の風教國家の風教といふものから見て、既に告發されたとか、議會の問題となつたといふ丈でも相當の責任を負はねばなるまい、星亨の司法大臣であつた時、反對黨から彈劾され其事が事實でないと明瞭になつたに關らず、不德の致す處なりとして天下に謝した、といふ樣な前例ある事を考へても、道德的に疑を受けた場合、公人としての內相なり代議士なりが、國民社會全體に影響する事を痛切に感じて國民に謝する位はなくてはならぬ。けれども私は大浦氏の淸廉を信ずる。どうか此問題の眞相が一日も早く明にならん事を望み、同時に若し假りにも糾彈する者に政略的關係があつたならば風敎を賊するの罪や重大なる事を告げるのである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

暑中と家庭

成女高等女學校長
廓清會理事　宮田脩

暑中に轉地する風が大分流行つて來て夏になると海に若くは山に避暑するといふ事を年中行事にしてゐる人も澤山あるが、私は健全な人々が餘計な費用を使ひ餘計な時間を費してさういふ事をするのは意味のない事だと考へてゐる。

併し病身であるとか或は靜に物を考へる、書物を讀むなり書くなりする必要のある人達は、これはもう其限りでないのみならず、寧ろ適當の場所を選んで行かれる方がよいであらう。けれどもこれ等の箇條に上らない人が妄りに避暑旅行を年中行事とする事は、私は寧ろ害あつて益のない事と迄も考へてゐる。

本來暑中は四季の中で尤も人に對して壯烈な氣分を味はしむるもので、炎々と燃ゆるが如き太陽が大地を熔かす程の自然の間には、我々は一面暑さに堪へぬ心地もあらうけれども、他面に於て夏は其他の季節に於て味ふ事の出來ないサブライムなシビアな氣分を味はして貰へる時で、何となく雄々しい感じに打たれるべき筈だと思ふ。

□□□□

這麼樣な意味から汗は流れるけれども汗を流しつゝも尙斯ういふ季節を我々は有する事を感謝せざるを得ないと思ふ。且つ人間が働くといふ事は難有いもので暑いに限らず寒い冬の日でも働いて一身を其事に傾注してゐる場合は、殆んど寒さを感じない如く、暑さの激しい時にしても炎天を草いきれのする野原に行くにしても、一心が歩くといふ働きに注がれてゐる時には、汗は自然の影響として出るには出やうが、却つて徒らに部屋の中にごろ〳〵してゐる時よりも暑さを感じないのは、世に働いてゐる人の何人も肯く處であらう。

されば寧ろ身體の丈夫な人は此自然の壯烈な周圍の間にあつて、却つて働いて居乍らにして暑さを忘れるのは、私は其時に處するよい方法であると考へる、而して充分働いた後、靜に木蔭に憩つて涼風を入れるならば、此凉味や決して山間海邊に行つて安樂椅子に凭りかゝつてゐる人の夢想だも及ばざる言ひ知れぬ快味を感ずるであらう。

之は啻に大人ばかりでなく、子供にも左樣に仕向けて行く事は、やがては子供の爲にもなり、斯ういふ慣習をつけて置く事は大切な注意の一つである。

□□□□

尤も自分は此暑さの內、何時でも都會に住つて外へ出るなといふのではない。其子供の年齡なり、若くは境遇が許せる場合なりには、隨分此時期を利用して旅行を企てさせるもいゝ。

一體旅行なるものは旅行をして了つた後は愉快なものだが、旅行中は中々難儀なものである。決して遊び事ではなくて

5-275"

一つの勞働であるから、前の意味に於て特に斯ういふ仕事をしなくてはならぬと定められて居らない場合は旅行といふ勞働をやつて身心を鍛錬せしむるのは決して惡い方法ではない。これも年齡による事であるけれども、時によれば一人若くは同年輩の人々のみで苦勞をさせるといふ試みの如き、最も教育的の結果を收める事が出來やうと思ふ。旅行といふ事の意味は、強ち數日を費す長途の旅行でなくともよい、一日郊外へ行くといふ樣な意味をも含まれてゐる、決して遠方へ行くと限つた譯ではない。

で斯ういふやうな事が出來ず、一時の仕事もないとすれば、内で特に何か身體を使ふ可き仕事を作つて宛てがうがよいたとへば三十日なら三十日の休暇期間に割當てゝ或は畑を作るとか若くは庭を直すとか、いふ樣な、其人と其家との事情に準じた何等かの方法をこしらへてやらせるやうにしたいと思ふ。

尚又女子ならば日々の家事の手傳をさせる事は勿論、洗濯物をさせるとか、片附物をさせるとか、何か仕事をさせる。

□ □ □ □

休みといふものは元より平日の疲勞を慰すべき期間で、そんな事をしたらば休暇の意味をなさぬではないかといふかも知れぬ。併も自分の考ふる所では、日本の樣な氣候の穩かな裸體にならねばならぬといふ樣な日は僅かしかない處では、熱帶國の樣な休暇期間を與へなくてもよいと思ふ。場合によつては休まなくてもよい位烈しい暑さを感じない年もあるのである。

併し休暇は心の勞れを慰する爲めに必要であるとしても、身體のみの勞れを殊に慰する必要はない、身體は寧ろ萬遍なく平均に働いてゐた方が愉快な日を送られるのである。此休暇期間は動もすれば惰弱になり勝ちで休暇が終つても暫は勉強も仕事も手につかなくなり易いのであるから、大人も子供も夏に於て變つた修養をするといふ心掛けが大切である。

之を要するに夏は人に壯烈なる氣分を味はする爲の自然の啓示である、從つて人は此恩寵に浴して其主意を誤らぬやうに暮すのが道であらうと思ふ。

此可憐なる手紙を見よ

（原文のまゝ）

書面にて御尋ね申ますが、私度々貴部の本を何處からか知りませんが、送つて貰ひまして よく〱讀みました處安々と自由廢業をさせて貰へる由ですが、今年で九ヶ年計り勤とめて居りますが、元は○○に四年計り居りまして、當地に來てから足掛五年になります、年子(期?)にきめてから今年九月で丸三年になりました。六百圓六十圓を六年伴にきめました處、何だか都合惡く賣れません故實に困りました。其れに私方主人は他家よりもきびしく、花が賣れません故日々の苦しさわ有りません。私も今では此樣な有樣故今一ヶ年も立つたなら死なればならぬ樣になります。我身が困れば何處へもすがる所なき故、兩親の元へすがる計り、此先き三ヶ年伴も居つたなら如何樣な不幸を兩親にあたへればならんかと思ふと、末をそろしくなり、一日もつとめる氣にはなれません。其れに今年年に早や廿七歲になりました故、身休(體)もよわり、其れに引き日計り出來て、廢業致した上はよき人の世話なり兩親に孝幸(行)がつくしたい。然し兩親は此事知りません。其地に出向き御助力願ふが本竟(意)ですが、ろぎんも五圓計りなくてわ行けません故、私が廢業した上は御禮致します故願ひます。金子の借りは有つても宜ろしいか品物で借りて七ツ屋に入れて有りますが宜ろしいでしよ。當人承知で借りた品です者。着物は私先方より替つて來る時に待(持)つて來た着物は送つかへわ有りますまいか、今迄に何度死ぬ樣な心出した共知れません。何卒私に御同情被下て廢業させてください願ひます。

廓清會本部御一同樣へ、七月三日○○○

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

家庭と學校

東京高師幼稚園主事　安井哲子

子供の身體的精神的遺傳は之を如何にするも改作する事は難いのであります。教育と云ふことは子女の外部的の要素に手が屆くばかりで、子供の周圍を彼等のため有益に整理してやるまでの事で有ます。卽ち子供の身體と精神がよく發育することの出來るやうに境遇を作つてやるのが教育本來の目的でありますが、子供の自然の教師は家庭の父母であります。子供教育の根底は此處にあるのです。けれども家庭は教育專門に出來て居ないのですから、此自然的教師たる父母ありと雖も家庭丈では子女教育の目的を完全に達する事は出來ません。故に或る時期に達しまするとと子女の教育は家庭のみでは出來なくなるのであります。

其處で女子教育の或る目的のために幼稚園が起り。學校が必要となるのであります。所が近來は段々と家庭生　活が複雜になつて參りまして、家庭と學校との連絡が遠く離れかゝつて參りました。卽ち家庭の父母は子女の教育は之を學校に一任するに如くはなしと考へる人々が多くなつて參りました。然しながらこれは世の父母たるものが大に考へなくてはならない所で有ります。子女を極く幼少な時分から寄宿舍に入舍させて居る人々もありますかなれども、之は大變な誤りであります。肝心な親子の對面さへも思ふ樣に出來ない事になつて、子供として大切な親の感化を受ける事が不可能になります。

今日の社會の趨勢から考へまするならば、家庭に子供が居ましても、親身の親の教育を受ける事が段々六ケ敷くなつて來ました。つまり我國の子女教育なるものは家庭より離れて漸次學校に移りつゝあるのであります。こんな風になり行きまするならば果して子女の教育が完全に出來るかどうか、心配でならないのであります。私は到底出來ないと思ひます。

抑家庭教育の基礎は愛であり、子女は其の美はしき愛に包まれて育てられるのですが、私の經驗によりますると最もよく此の家庭に於ける愛に包まれて成長した子供は不思議にも世の誘惑に打ち克つことの出來る一種の力を持つて居るのであります。それでどうしても今日の時世から致しますれば子女が一人前に獨立の出來ない前に親身の親の膝下を離れて遠く學ばなくてはならないやうになりました。されば此間に於きまして種々なる誘惑は手を代へ品を變へて子女に迫つて參りませう。

此の恐るべき誘惑に子女をして克たしむるものは親の愛。家庭の引力でありまするが、モ一つ其處に忘れてはならない所の要素があります。卽ちそれは子女のために親なり家庭の人々が一つ心になつて祈つてやる事であります。卽ち神の力に依つて其の誘惑に克ち且つ之れより逃れるの外はないのであります。

更に遠くはなれた子女のためには其の親たり兄たり姉たるものが、愛の發表をなす必要があります。卽ちそれは彼等のために愛にあふれた手紙を送るとか、溫かいホームを思ひ出さしめるやうな家庭に關する思ひ出多き種々の通信をしてやるとかいふことが最も必要でありませう殊に溫かい家庭を離れて硬い生活をなして學業に勵んで居る青年男子のためには愛のあふれた母の手紙或は姉のやさしき心盡しになる手紙の文句は、寧ろ父や兄の手紙にまさる幾倍の效果があるか知れないのであります。

家庭は前申す通り全然、愛が基礎となつて其子女に教育を授けるのですが、學校は之れと反對に理想が主となつて居ります。勿論教師の人格とか品性といふやうな事は申すまでもない事ですが、家庭のやうには參りません。學校教育の基礎は『理想』であります。理想をもつて子供を引き付けるのが學校本來の性質であります。學校の教育では四十人五十人七十人といふ大勢の子供の性質持ち前を教師が知る事は甚だ困難であります。然し家庭の母は其の子供の姙娠の時から其の生立ち其の性質をよく呑み込んで居ますから、其の子女一人々々の身體性質に適合したやうな教育が出來るのであります。それで學校教育といふものは家庭教育の補助であると云はなければ成りません。それですから、學校に子女教育の全責任を負はすといふことは全然失敗の見解であります。

家庭では子女を取り扱ふこと眞に寛大であります。ですから子供は家庭は自分等一人々々の都合の良いやうに出來て居るといふ風に考へませう。それで子供は家庭ではおまゝゝへもしませうし無遠慮に何くれとなく母親に訴へませう。子供の自然的な樂しい生活は家庭に於てなされ、此の間に於て子供はよくのびのびとするのであります。

學校はこれと反對に特に正義の念を養ふやうに出來て居ります。（家庭とても正義の念はありまするけれども、どうしても愛が克つて居ます）そこで學校生活には特に克己を要し、自分と他人とは同等の權利の要求をなすものであるといふことを、學校生活てふ共同生活に於て學ぶので有りませう小さい心は茲處では確く養はれるのです。ですから朝から夕まで一日の中を殆んど學校で子供を暮させるといふやうな教育法は考へものであります。少しも子供がホツトする暇がないのですから。こんな生活を子供が永く續けると致しますならば、如何な感化を受けるでありませう、考へる事は安いのであります。

母の愛を以て自分の子女などをそだて上げる事の出來る人に中學生などを托することは最もよい教育法であります。近年は硬教育と申しまするか、男兒の教育のために男子のみを以てする傾向がありますが、之はつまり男らしい男を造り出すといふ考へからで有りませう、然しこれは確かに失敗であると思ひます。男子の男らしき性格は慈愛の精神を味はずしては、出來得ないのであります。即ち男らしき性格はやさしい女性に觸れなければ發達しません。硬と軟、嚴格と溫柔とが相接觸して始めて血あり淚あるところの性格が形成せられます。

堂々たる男性は女性の助けなくしては成り得ない所のものである事は、古今の歴史が之を證明して居ります通りであります殊に母たる愛の感化がなくしては、成り得ない所のものである事は、古今の歴史が之を證明して居ります通りであります。男子の堅固なる意志と美しき情操は聰明なる婦人の感化によつて成果するものであります。今日男らしき性格の男子を得んとして女性の氣もない教育を施すといふことは殺風景極まる教育であつて、どんな男性が出來るか心配はれざるを得ないのであります。婦人の手を全部離れた教育といふものは、到底圓滿なる男子を作り出す事は出來ないのであります。男性の教育のためには立派な女性を近づけなくてはならないのであります。

（丹倉講演大意基督教世界）

沼南會の記

僉富生

▼其前夜から如何あらんかと氣遣はれたる六月六日の日曜日、我沼南會は幸先よくも朝まだきより朗らかな初夏の好天氣衆議院議長官舍は見るだに涼し日比谷公園の緑葉樹の頭を撫でゝ吹き來る涼風を入れて、誠に居心地が好い。

▼午後二時の開會といふに、沼南門下の子弟は一時頃より續々と三々伍々集ひ來りて、定時には、はや集るもの二百餘名。最初の考へでは十人か廿人の小集會との御考であつたらしいが、何ぞ計らん何等の勸誘もなきに我も我もと集ひ來る者斯の如し。これでは致し方がないといふので、場所も遂に築地の精養軒と改まり議長官舍に集ひし我々は五六臺の自働車によつて精養軒へと繰出した譯である。

來會者の顏打ち揃ふ迄とて、早川貞水の『木下藤吉郎』の講談がある。流石に一流の名人、人々の頤を解いた。

▼三時、三宅氏（横濱貿易新聞主事）の開會の辭によりて正式は始まり戸井代議士座長は選ばれ、先づ平沼代議士より沼南會發會の趣旨を述べられた。之に對して種田五郎氏（横濱の實業家）、及び櫻井代議士の贊成演説がある。曰く、『沼南先生が後進子弟に敎へらるゝ所は「利害得失を見る勿れ理非曲直を見よ、權力を恃み富貴を望む勿れ、唯正を踏んで恐れざれ」といふのであるが、先生は全く其實行者である。若し然らずんば遠の昔雲閣の人であられた筈だ。』

又、明治三十年憲政黨内閣の際、星遞信大臣が其職を辭したる時、先生は遞相の候補者であつた。併し乍ら先生は『人爵何かあらん。我には我なすべきの務めあり』とて之を受くるを肯ぜられなかつた事や、先生が後進子弟を引立つるに如何に懇ろに且つ情濃かであるかを語る實例も引かれた。それから石川半山（萬朝報主筆）氏は法三章的の沼南會規約を發表せらる。曰く

一、本會は沼南會と稱す

二、本會の目的は島田沼南先生を中心として懇親を深うするにあり

三、本會に十人の世話人をおく、世話人は本會に關する一切の事務を執る

滿場雷の如き拍手を以て迎へられ、提案は正に全會一致を以て可決確定。それより、演説に移つた。

▼第一に立たれしは浮田法學博士である曰く、『自分は生れてから今日迄、未だ曾て議院といふものを覗いて見た事もない又つら〳〵今日の議會の有樣を新聞の上で見ると、どうしても傍聽に出掛けて行く勇氣もない。思ふに今日の政治界は沼南先生の如き人の活動さるゝには甚だ困難であつて、此間に處して、苦戰奮鬪は決して尋常一樣の事で出來ることではない。莫遮横濱の選擧民諸君が過去二十幾年間終始一貫節を持して沼南先生を議場に送られたる其節義に對しては、私は實に多大の尊敬を拂はざるを得ない。そ

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

れに就ても國民が善良でさへあれば、善良なる代議士は得らるゝことを語つて心強い。殊に沼南先生に就ては、政見の異同はこれあらんも、先生の心術と人格に至つては何人も之に敬意を拂はざるはない。議長としての先生も先生が最も公平なる議長なる事は何人も之れを認めて居る。之れを認めて居り乍ら彼の有様は何事ぞや、私は茲にも健全なる輿論の聲高まつて、議會の内部を革新するやうにせねばならぬと思ふ。それにしても沼南會の如きが、先づ大義を天下に唱へて道徳的輿論の制裁を強くしたい云々』

▼次に角田眞平氏は立ちて曰く。

『島田先生は實に改進黨中の最古の元老である。にも拘らず先生が今日迄取り殘されて來られた所以のものは、やがて先生の偉ある所以である。蓋し先生は何れの政府に對しても常に正々の論諤々の辯を上下し、微塵だに當路者に對して諛辭を呈すること能はず、斯くて當然得べき地位と名譽も弊履の如く之を棄て顧みられなかつた。之れ先生が今日迄取り殘された譯である。然し考へて見れば、世には人を押し退けてまでも、人の地位を奪取せんとするものもあるが、之等は謂はゞ詐欺取財で、先生の如く當然取るべき地位をも取らずして他人に讓るは軈て高尙なる慈善事業であると思へば餘り遺憾に思ふ要もない。唯先生に御願ひ致し度きは政治界の西行法師となつて仕舞はれずながく人間であつて戴きたいことである』

▼それから山室大佐の演説があつた。曰く、

『今より約二十年前救世軍が始めて日本に於て開戰した時分は隨分みじめな目に遭ました。「男子は敷居を跨げば敵七人」と申すが、救世軍の帽子を見さへすれば迫害を加へられ、氣の弱い私共はどうすればよいやら、隨分心配も致した。そんな譯で新聞紙等よりは何れも冷笑嘲罵を被むつて居た中に、獨り島田先生の主宰せらるゝ毎日新聞のみが唯一の同情者であつた。例へば或日の社説に於て先生の筆と覺しく、十九世紀の世界的偉人といへば具翁と比公であるが、具翁去り比公逝きし今日に於ては、世界的の偉人と稱し得べきものは獨り救世軍のブース大將のみである』といふ文章を拜見して誠に辱けなく思つた事であつた。

又婦人救濟の事業の如きに就ても、種々異論も多い中に、千五百人餘のたよりない婦人を救助し得た事は又先生の御助けに倚りし事多いのである。御承知の通り毎年、年の暮に途上に立てる鍋の如きも又それで矢張り島田先生の御同情に依つて始められたのであつた。四百四病の其中で貧より辛いものはないと云ふ、其貧の中でも正月に一杯の雜煮に有りつく事すらも出來ないなどは最も辛いことなのである。そこで先生に相談して見ると宜しいと早速引受けて下され、毎日一段づゝ新聞紙を貸して上げるとの事であつた。救世軍は其新聞紙上を拜借して、其趣意やら經過やらを書いた。而して其年に四百五十圓、其翌年に七百圓、九百五十圓、更に昨年末の如きは二千五百圓にもなり、數多き貧窮民の事故に、十分とは行きかぬれども兎に角數千人の貧しき同胞に新らしい手拭で顏を拭き、一キレの雜煮にでも有り附かす事の出來たの

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

は全く先生の賜である。

それからまた救世軍の仕事が畏れ多くも天聽に達し、昨年は御下賜金の御沙汰に迄與かるに至りし事共に就ても、天恩の優渥なる實に感激に堪へざると同時に又先生の御恩を思ひ出ざるを得ぬ。而して私は看板通りの耶蘇信者ですが、此一年半の間といふものは一日と雖も先生の上に神樣の御祐助と御祝福とを祈らぬ日とては決してない。何を忘れても私は先生を忘るゝ事はないのである。

而して又先生に對しても、若し申上げてもよいとすれば私は謹んで二つの言を進上致したい。一つは奴隷解放者たるウイルバーホースの愛誦の聖句『汝等の戰にあらずエホバの戰なり』(代下二十)一は貝翁の愛誦の句で『爾は安きに、安きを以て、志堅き者を守る、彼は爾に倚り頼めば也。(賽二四)

山室大佐の話中『先生のために毎朝祈禱を忘れた事はないと』曰はれた時には滿場雷の如き拍手であつた。沼南會員たるもの、云ふ迄もなく悉く基督信者ではない。然るに、先生の爲めにつゝしんで禱るといふと、凡ての會衆が著しい感動を惹起したなどは所謂至誠の人を動かすもの頗る愉快に感せざるを得ないことである。

▼次に立たれたるは安部先生である。時間がない故に唯一言だけとて『私は島田さんが成功せられないは無理はないと思ふて居る。何となれば島田さんは決して日本流の政治家ではない。英國流の政治家である。若し島田さんをして英國の議會で議長たらしめば何等の心配なしにやられるに違ひない。

思ふに島田さんは日本の政治家としては三四十年早く出すぎて居らるゝ。此頃私の讀んで居る書物の中にコブデンブライトに關するものがある。私は日本に於ける島田さんは、コブデン、ブライト以上であると信じて居る。蓋し英國の政治界の空氣はコブデンブライトをして彼の如き志操を保つに極めて都合よく出來て居た。乍然日本に於ては政治家として島田さんの如く此政治界に處するは全く此空氣に反抗して立たねばならぬのであるから、事情が大變に違ふのである。此困難なる事情境遇の中に於て、島田さんの如き志操を保たるゝは實に優れたる人でなくては出來ぬ事である。

▼終りて、島田先生は立ちて徐ろに答辭を述べて曰く『今日の集會に對しては實に恐縮に堪へない。諸君の斯く迄に厚き友情に對しては何の辭を以て感謝すべきかを知らないのである。戸井、平沼、櫻井小山各代議士の世話役としての御骨折浮田博士其他の賓客方々が御多用の所を殊には遠路の處をば態々御來會下されたる事に就ては深く其好意を感謝する。又不肖なる私を前後十二回議會に送つて頂いた横濱の選擧民諸君に對しては取り別け、厚く感謝しなければならぬ。由來私は小數黨に籍を有し從つて選擧區民諸君のためには何等の利益をも與ふる事が出來ないのに諸君は唯、私の一片の誠意を諒とせられて毎回私をば議會に送つてくれられた。私は眞實に若し私が他の選擧區から出て居たならば迚も今迄は續かなかつたであらうと思ひます。此厚き御同情に對しては實に謝するに辭なき次第ではあるが、唯此場合に於て一言自ら言

明して憚らないのは過去二十餘年の私の議員生活に於て、一票と雖も敢て不正の投票を戴いた事がない事である。と同時に私も亦議會に於て一票と雖も不正の投票を投じた事はない。随分勢ひは私を促がし誘つた事は少なくない、或る場合には全く惡漢の仲間と指された事もある。けれども私は何等の疚ましき行爲を有せなかつた。それを思ふに就ても安部教授其他の深き友情に感激せざるを得ない。憲政擁護運動の當時種々の嫌疑を受けたる時、安部教授は私のために辯じて、進退の上に過まつたか過まらぬかは知らぬが島田氏の此度の行動に良心に於て一點疚しきものゝない事は私の信じて疑はぬ處であるといふ御辯解を、私は海を渡つて米國で發行する新聞紙を通じて讀だ。又山室大佐其他の人々に對して多く謝すべき理由を持つ者である。

又議長としては實に今日迄にタッター度神奈川縣の議長たりし事あるのみ衆議院に於ては楠本議長の下に副議長を致した事はあるけれども、楠本議長は極めて勤勉の人で、私が副議長として議席に就いた事は殆んどなかつた。才力の分量の極めて少ない其上に何等の經驗を有しない故に、友情厚き諸君に對しても種々の御心配をかける、誠に申譯がない、唯内外の同情によりて職責を盡すために努力したいと思つて居る。それに就き此の沼南會の如きは、自分に對して實に大なる勇氣を與ふるのであるが、私は其與へられたる勇氣をば決して社會の不利益のためには斷じて用ゐない事を御約束する事が出來る。德薄くして才短かし、切に諸君の御同情を願ふ云々』實に懇切を極めたる答辭であつた。

▼第三十四議會に於て政界廓清の第一聲が島田先生によつて發聲されたる事は諸君御承知の事であるが、先生が過去四十年の政治家としての經歴中に一票の不正なる投票を貰はず、且つ一票の不正なる票を投じないと言ひ得る者は實に我國幾千幾百の政治家中果して幾人あるであらうか。我々は實に、斯の如き志操高き會長を有することを以て實に此上なき名譽を感せざるを得ないのである。

* * * *

正式の集會は之で終つた。而して午後五時過ぐる頃別室に移つて食卓に就た。食堂に入るや、宴半ばにして、石川半山氏は椅子の上に立ち上り大音聲を以て其雄辯を振ふて曰く『諸君は日本一の雄辯家沼南先生の門弟である。必ずや堂を揺がす計りの雄辯を聞きたい』との辭に先づ高商の校長佐野博士の沼南先生を頌するの辭あり、それから我内ヶ崎教授は『宇宙の根本に何等神聖なる或物を認めず、獨り議會にのみ神聖なる議會たらしめんとするは之れ不可能の事なり。今の政治家の生活を見よ、彼等は道德宗教とは全く別世界に住めり、其間に於て我沼南先生が何故に、爾かく崇高なる人格を保たれ居らるゝや、之れ先生が宇宙人生に對する嚴肅なる觀念より生じ來る自然の結果である。

又先生が演題に立たれると四十臺にしか見えぬ。蓋し之れ良知良能の光明の輝きに非ずして何ぞや。私は先生が今後益々二十年三十年四十年尚も繼續せられて益ゝ國家のために奮鬪せられん事を希望するものである。』

▼それから高木正年氏は曰く、『私は此不愉快なる議會に於て、唯一つ慰むる事がある。夫は卽ち數百の議員中其模範人物を探して、玆に島田先生を見出した事である。實に今日の議會の品位と面目とは纔かに一人の島田議長により て支へられて居ると云つてもよい、島田先生は此意味に於て眞に我衆議院の代表者である。』

▼小泉代議士は曰く『先生は常に高遠なる理想を追ひ求め、富貴庶幾ふ所にあらず唯一片の丹心國家に報ふ。其の高風や實に吾人沼南會員の欣慕して已まざる所也。去り乍ら唯先生に對する吾人の願は竹冷先生の言はるゝが如く、先生が永く人間であらるゝ事である。神樣になつてしまはれぬことである。蓋し俗に居て俗に染ます、憲政の發展のために努力せられんことを謹しんで希望せざるを得ぬ。』

▼最後に幹事より沼南會の費用の中に櫻井氏より金三百金の寄贈ありし旨の報告あり、最後に島田沼南先生幷に令夫人のために萬歲を三唱して和氣靄々の裡に散會したるは七時過ぐる頃であつた。

▼只一つ遺憾に思はれたのは此日の演說者達が信子令夫人の德に言及せられなかつたことである。

されば乞ふ親愛なる廓淸會員諸君、我等をして、玆に此誌上に於て令夫人のために祝福を禱らしめよ。蓋し先生をして、今日あらしむるために——今日あらしむるためと言ふのは、先生の物質的成功をいふよりも、より多く先生の精神的成功、崇高なる人格を意味して、何となれば先生の先生たる所以は、寧ろ其處にあるのであるから——は、令夫人の功、如何に大なるものあるか計ることは出來ないのである。令夫人は慥かに現代に於ける模範的の夫人である。のみならず、若し我等の知る限りに於て理想的夫婦の活模範を求むれば、先づ指を島田先生御夫婦に屈せねばならぬ。『二つの者一體となるべしと記されたり、さればはや二つにはあらず一體なり』の我主耶蘇基督の夫婦に對する理想は、最もよく島田先生御夫婦に實現されて居る。されば沼南會とは單に先生其人を敬慕するの會のみに非ずして、實に島田三郎同信子てふ『二つにして一つ』なる渾然として同化聯合せる一人格を敬慕する會であらしめたい。

▼終りに臨んで一言するをゆるせ。某代議士が、其卓上演說の一節にもありし如く、實に此最初の沼南會が、純然たる道德的宗敎的の集會でありしには驚くべくも亦感嘆せざるを得なかつた。思ふに世間類似の會はある。けれども斯くの如くに陽氣な中にも嚴肅に、嚴肅な中にも愉快に、淸くして而も極みなく樂しげなる集會があるであらうか。實に沼南先生と沼南會とは一世の風敎を指導する實を有し又威權を有する。私は滿腔の赤誠を以て沼南先生並沼南會の前途を祝福する。

怪我の統計

大正二年の東京市（車輛に觸れたる）

	男	女	計
汽車	一一	一	一二
電車	五三三	一一二	六四五
自働車	一八一	三八	二一九
馬車	一二九	四一	一七〇
荷車	二六四	八六	三五〇
人力車	二七	一二	三九
自轉車	四七三	二三二	七〇五
合計	一、六一八	四二一	二、一四〇

婦人矯風會の活動

今秋の御大典に就て藝妓を公會の席に出さしめざる事に就て同會は極力運動をなしつゝあるが、大阪に於ては大阪新報、東京にては東京毎日及び女の世界などが度々愚劣なる議論を揭げて藝妓の肩を持ちつゝあるは苦々しき事也。

「吉原」と「千束町」の爭

大石末吉

時と人 炎威反側輾轉倚焦熱に苦み。梅雨霏々として烟り無聊に不堪。天曇なれば灰色傍りに充ち滿ちて欝悶々の情遣瀨なし。黴又生ず。斯くの如くにして。平素壯を誇り。常時健を以て任ずるものと雖も尚且病むが如けん。況や常時蒲柳の質。平素虛弱を以て心神を煩ふものに於てをや。何ぞ夫れ堪えん。或は斃れ。或は生を奪はれ。或は死す。又ものとし物たる物、悉く黴菌生じて腐敗せざるものあるなし。此の黴菌は人既に知る病魔の泉源にして。萬物及び靈長を。駸々として侵害する甚だし。夫れペスト。チプスが猛烈なるが如く。黴菌の勢力微なりと雖も尚且人間を倒す。豈に驚くべけんや。黴菌暴威を逞ふして醜氣紛々たるの時に。人怠墮を催す。古言あり。壯健なる身體に健全なる精神宿ると。既に然りとせば。現時の心神健全なりといふ事を得べけん。卽ち所謂病的にして惡魔の手に奪はれたるが如し。ア、黴の世界。惡魔の世。故也。人倫道德地を拂ふて、奢侈淫靡に風俗壞亂の所行醜怪事。應接枚擧に遑あらざるを。百鬼夜行。百鬼晝行の形容詞。此の間の消息を諷刺し適切にして至言と謂つべし。

醜と醜 就中醜怪言語に絕するものは。公私娼の勢力爭鬪の事たる也。公といひ私といふも落れば同じ谷川の水。共に淫を鬻ぐもの也。賣淫は人倫に反する行爲たる也。不道德の行爲たる也。破倫惡俗たる也。根本既に然り。何ぞ公私の別を以て罪の輕重を論ぜん。罪の罪たる事明々白々たるなり。醜の醜たる炳乎たる事實也。然るに公娼は私娼を難じ。私娼は公娼を蔑る。斯くの如きは。五十歩をして百歩を笑の類也。尚犯人捕へられて。同醜の處罰せられざるを非難するが如く其犯人の罪に何等影響する所あるなし。犯罪は各個別々に成立する物なれば也。

咄怪事 公私娼の爭鬪論者は賣淫の根本を等閑に附したる。迂愚の議論たる也。馬鹿の議論たる也。厚顏無恥の議論たる也。愚者の爭たる也。我田引水の議論たる也。强牽附會の說たる也。世の破壞者たる也。風俗の壞亂者たる也。如何となれば公娼にして私娼を蔑り。私娼を罪惡視す。之れ取りもなほさず。事實を同うし。利益相反するの立證なり。私娼對公娼又然り。然りとせば攻擊論者が口にする所又自己を責むるものたる也。之れ自家撞著の議論たる也。談るに落ちたる議論たる也。

夫れ陽あれば陰あり。雌あれば雄あり。男あれば女あり。表あれば裏あり。火あれば水あり。有るあれば無あり。富むものあれば貧者あり。強者あれば弱者あり。害蟲あれば益蟲あり。而して原因事實な同ふし。利益相反するもの二者併立する所必ずや。利權の爭奪あり。之れ所謂生存競爭たる也。盛衰興亡たる也。

故に吾人は人倫に反せる行爲を營業とせる厚顏無恥。無學濛昧者流の言辭は免すべし。然れ共世の識者が公娼を是とし私娼を非とし。私娼を是とし公娼を非とする議論に到つては。咄々怪事遂に默する不能。聞くならく。淺草區壯丁梅毒者多く區の面目を害す。都市の風紀上。原因私娼にありと。區會決議撲滅運動に寧日なしと。吾人國家社會の爲め其の趣旨を讃し。其の擧を壯とす。然れ共翻へつて見れば。淺草の地昔時より私娼存す。而して私娼のみを罪惡視し梅毒の原因を獨り茲に嫁し。之れのみを撲滅せんと。依て以て淺草區會の心事を疑はざるを不得私娼不可なりとせば同一行爲をなす公娼共に不可也。況や公娼を繁榮せしめ私娼を絕滅せしめて。風紀の廓清を期せんと公言するに於てをや。之れ實に木に登りて魚を求むるが如し。故也坊間新紙の傳

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ふ所公娼の使嗾に出づと。斯くの如くんは遂に淺草區會一言半句の辯解なかるべし。實に惜む區會の爲めに。若し夫れ風紀廓淸の誠意あらば。先づ以て不合理なる公娼の廢止を當局に迫り。私娼の嚴罰を當局に請願せざる。或は辯疏せん公娼は檢梅す。私娼は然らずと。然らば私娼をして驅梅を實行せば可也との理論となる也。淺草區會たるもの之れを以て風紀を廓淸し得と信ずる乎。

檢梅效

檢梅の效力なきは醫學大家の定論たる也。視よ吉原にして梅毒病者を出さゞるや。然らず。由來花柳病は破倫亂淫の天刑たる也。之れあるが爲めに品行を謹み。之れあるが爲めに亂淫の弊を知るもの也。實に野草の田畑に生育し、田夫の怠惰を戒愼せしむるが如し。之の危險をも犯して遊興するものは、やがて來るべき天刑を受くべき責任を有す。驕るものは久しからず。自然淘汰の原理は此邊に存す。

肉の交

群芳爛熳として嬌研するもの。禽鳥嚶々として玲瓏たる清音を弄するもの。比々皆子孫蕃殖の爲めに生殖せんと欲する也。決して浮氣の沙汰に非ず。夏去り秋來り。秋行きて冬を迎へ。冬去りて春來り。玆に始めて花を開き子孫の爲めにす。尙ほ一定の交尾期を外にして禽獸は生殖作用を營ます。

然るに人間の構造は二六時中淫欲を充す事を得。之れ果して亂淫好色の自然的人間の特權なるか。然らず。之れを實行せば生理的の制裁あり。花柳病の天刑即ち之れ也。交媾は生殖以外に營むべきものに非ざる也。亂淫は直ちに生命綱に肉迫す。故也生殖作用の甚だしきもの程生命短かし。蓄殖力の猛烈なる黴菌は壽命尤も短かし之れ好適例也。古代にありて法律を以て夫婦交媾の度數を制限したるものあるを見る。波斯のワオス、アルテンの如き。希臘のソロンの如き。若くばムハメットの如き之れ也。尙ほ宗敎上に於て月經時の婦女に接するを嚴戒したるもの。或はユトピヤに於ける交媾の制限の如き之れ也。之れ荒淫亂行を制し。子孫生殖の機能を全からしめんと欲したるに外ならず。人間は荒淫亂行の弊を自ら識別する能力あり之れ禽獸草木と異なる所也。萬物の靈長たる所也。若し生殖器の構造が荒淫亂行の自然的特權也と信ずるものあらば。夫は消化器あるが爲め亂食するの特權ありと解し食傷する者也。

誤制度

我國民法の一夫一妻制は前述の法則に基く。之れ醫學生理上及び道德上に尤も合理なれば也。而して刑法に猥褻姦淫重婚の罪を規定したるの主義を全からしむる所以に外ならざる也。然るに公娼制度を設く何ぞ民刑法に乖離せる。人倫に背反せる。之れ昔時の遺物に他ならず。公娼制度あるによりて今日風紀の頽廢を來したる也。

廻因果

公娼は實に生殖器賣買の始祖たる也。其の公娼私娼爲めに氣息界らず頻死の境を往來す。實に因果應報たる也。自業自得也。

我政策

余をして内相たらしめば。私公娼を殺闘せしめ。公娼を廢して。名實雙美の法治國たらしめ。私娼を嚴罰して兩虎を得ん。斯くして暴威を振へる徽士用干に逢ふ近きに有。社會に忠實なる諸君。自重なる諸君奮闘せよ。帝國風俗の興敗此の一擧に有り。

◆吉原の窘窮

私娼取締の權を有してゐた事から思ひついた譯でもあるまいが、千束町との競爭に堪へず、放逐の方法を講じたがそれも容易に實現されさうでなく、裏門を開放して繁榮を圖らうとすれば表門通りの町民が激烈に反對し、青息吐息の此頃、時間制度を採用したり、揚代金を三十錢にしたりして苦しんでゐる。そして廢業する事には氣がつかないのは困つた連中で、揚代金の引下げの如きは、樓主の懷を痛むるのでなくて、愈々娼妓の收入が少くなるのであつて、いつでも彼等のやり方はこんなものである。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

眞を求めよ

福井壽郎

我々が最も尊いと感ずるものは眞理を求むる人だ。僞りのない人それは常に信ずることの出來ると云ふ尊敬を持たれる人である。眞を追ふて進む誠實の人、人類の歷史は常に此の誠實の人の美はしさを賞嘆した。而して此の誠實の人が嘆賞される裏面には僞りの人が極めて多かつたことを證明してゐるのだ。善なる者眞なる者は常に多數の不善者僞善者と戰つた。美はしい物語は其所に生れ歷史の數頁は其所に紅の色を以て染められた。不善者は、惡虐者は時に榮えることもあらう。而しながらそれは數瞬の惡夢に過ぎぬ。永久の光榮は善なる者眞なる者にあらずんば與へられないのが極まりなき自然の法則である。

一 無限の權威

今の世の中に生きて君の癪に障るものは何であるかと尋ねられたならば、私は世の中の凡てが不滿であり不信用であると答へる。此れ世の中に僞善が滿ち充ちてゐる故である。凡てに滿足すると言ふことは恐らくは社會の進步論的立脚點より見て到底得べからざることであらうけれども、今日の如くデカタンな末世の感のあるのはなからう。唯だ單に私は私のユートピアンより此の憎言を吐くのではない。私の純なる心の深底より國家の將來と人類の幸福のよつて來る所を考へて、一片將來を憂ふるの情切なるものあるが故である。

婦人問題、勞働問題、パンの問題、これが今日社會の三大問題であると言ふけれども女の全盛は卽ち墮落と沒落と破壞とを意味するのである。私は古き封建時代の如き心を以て女の跋扈を憂ふるのではない、神聖に徹底的に女が自覺の叫びを上ぐるのならば國家の發展上大和民族の爲めに敬賀に堪えぬ次第であるけれども、今日謂ふ所の自覺せる婦人達は殆んど私は論ずるの必要がないと思つてゐる彼等よりは最つと根本的に進步した考を持つて居る婦人が默して居る中に澤山ある。それ等を私は眞實に尊敬するを辭せぬのである。

故に私は決して女に口角泡を飛ばし理屈を言ふてはならぬとか、婦人が絕對に選擧運動に携はつてはいかぬとか、若い人が高言を吐いてはならぬとか云ふのではない。內容空虛にして確固たる信念なく、正鵠の理智なき人が滔々たる外面的空想の流れに陷つて溺れて行くのが慨かはしいのである。實際の必要と尊嚴犯すべからざる信念とよりして起る叫であるなれば、そして善良なる社會の風俗と秩序に反しない範圍內にあるなれば、如何なることを爲すとも誰も咎めはしないであらう。選擧に於ける婦人の運動も、若い女や子供を抱いた賢母が演壇に立つて男子の向ふを張ることも私は反對しないのである。否大いに贊成する所である。

然し乍ら此所に深慮を要する問題がある。吾人が社會的生存をなし其の生活を營み、人々各自が社會を形成する一個の分子である以上は其の分子の健全なることが社會を健全にし各分子の進步發達が社會の進步發展となると云ふことである

此れは動かすべからざる原則である。カルセージのハンニバルを避易せしめたるローマ帝國が繁榮幾十年やがてゲルマニアンの爲めに滅亡せしめらるゝの悲境に陷つたのは、ゲルマンの強きに非ずしてローマ帝國を組織する國民が、カラカラの浴場に泰平の芳夢に耽つて其の極の惰弱が國を亡ぼしたものではないか。

全てのものは努力しなければならぬ。榮枯盛衰は世の常ながら常に向上の爲めに進歩の爲めに眞理の爲めに努力しなければならぬのである。眞誠なる努力其所に眞個の發達と隆盛があるのだ、有限なる人生に無限の權威が傳はるのである。

二　富者に對して

富者に對して先づ第一に私は不平を言はねばならぬ。それと同時に富者に對する今日の社會人心の歸趨をも論じなければならぬ。富者の多くは富者なりと云ふ單なる理由の下に、當然特別なる地位に置かれてあるが如くに考へ、社會の多くのものもそれを認めて居るらしい。これが根本より誤れる思想であり富者を不幸にし社會の心を不幸にして居る原因であるだらうと思ふ。成る程富者は貧者に比較して財政上經濟上重き負擔を負ひ共同生存の爲めには多き對價を拂ふてゐる。併しそれは當然であつて何等それが爲めに貧者に比して特別優れる地位を占むるの要件とはならぬのである。天の下に生る人は皆等しく人として同等の權利を有し同等の自由を享有して居るべきである然るに世には富者なるが故に權勢を弄し榮華に耽り貧者は貧しきが故に富者に虐げられ束縛せられ飢に泣くものが多い。富者貧者等しく同等の人なるに一方は天下に濶歩し他は天地に跼蹐する。

萬民を保護するが爲めに憲法は炳として輝き法律は儼として定められてある、而も法を運用すべき當局者官吏も亦誤れる思想弱き感情の爲めに法を曲げるのである。法律は尊嚴なるも人は有情なのである。富者は貧者よりも尊からざるに誤れる思想を抱けるものは富者に厚くして貧者に薄からんとするのである。富者に於ても此の誤れる思想によりて白を黑として保護せらるゝが故に多くの禍根は此所に萠さるゝのである。我が國にも早晩此の兩階級の衝突は起るべき性質を有するのである。兎に角富者なるものは富者なるが故に謙遜なるべきである。貧者を保護すべきである。富者と雖も權勢を私すべき理由が寸毫もないのである。富者は貧者に近づき貧者は富まんとする時此所に兩者の合致を見合し得るのである。此所に平和が來るのである。

三　貧者に對して

科學は進歩し文明は開化したと稱へられる。併し私は此物質、精神兩方面の進歩とともに疑問の眼を以て見てゐる。今日の文明果して眞實の文明であらうか、文明の假面、私の頭はあまりに今日の文明の暗黒界の印象が深いのである。工業は起り商業は進み農業は大組織となり、資本家は益〻有利の地位を得、薄資本家は漸く不利の境遇に陷した。生活難の聲は世を蔽ひ優勝劣敗の原則は到る所に其の主張を專らにし、敗殘の面影淋しき人々は空しく寒野に眠るもの相續いた。或る者は敗れて勝者を恨んだ、呪ふた。自ら

僻むものも出來た。斯くして貧者弱者は竟に浮び出でんとする努力をすら惜しむ迄に意氣地がなくなつた。

羨んで勝ち得ず呪ふて殺し得ず僻んで自らを屠り得ざる、貧者弱者よ、御身とても同じ太陽の下に尊き一個の生命を護るものではないか。それを多くの者は一度貧に陷り弱者の群に入るや其の空腕赤手尚よく意氣を持つて立ち得べきことを忘れてしまふのである、不甲斐なくも自分自身を弱者として自分から辱かしめてゐるのである、自ら努力して失敗を恢復せんとする勇氣は一回の挫折によつて再び奮ひ起し得ないのである。

貧者よ弱者よ、私は御身を憐れむ、而し御身等は他人の憐れみを賴りにしてはならぬ。恩に狎れてはならぬ。恩に狎れるは尚奮起せしむるを得るも、貧にして貧に狎れたるものに至りては正に救ふべき道がないのである、貧者よ眞なれ、汝の力、汝の肉、そは汝自身のものではないのである。

四　誤れる教育

維新以後に於て教育は普及した。小學校は寒村僻邑に迄も普ねく、中學女學校は設けられ專門學校大學校の設備も成立し、目に一丁字なきものは漸く其の跡を絶つに到つた。

而しながら此の政策は策の根本に於て誤つて居つた。彼等は泰西の亞流を入るゝに急にして寺小屋は無くなり孔子の流をくむ儒學は衰へた。一面より言へば大なる建設は大なる破壞の後に來るものなるが故に此れも良いかも知れないが、破壞する必要なきものは保全するを躊躇してはならぬ。習ふて徹底し得ず學んで察し得ざる人は憐れむべきである。然も世の中には此等の人間が多いのである。

ニイッチエを崇拜する學者が出づれば皆超人を標榜する、復活の劇が演ぜられると目が覺めた樣にトルストイの研究が流行する。オイケン、ベルグソンも旣に時代が過ぎてタゴーレーが持てはやされる。恰かも婦人が色彩を好むに紫より紅に紅より綠に、桃山式より天明式に元祿式より安土時代物に、商賈人に操られるのと同樣に、思想界と雖も定見なく今日から明日に新を追て實を求めざる教育、それが此の末世の感ある僞善の時代を作つたのだ。

而して此の教育は名前に拘泥して空虛なる新らしき女を生んだ、人生の根柢に觸れてゐない所の耽溺ズム、享樂ズム、刹那ズム、アナクレヲニズムとはなつた斯くて我々の生きるべき世界否日本が益〻狹く不純になつて來た。教育はあれども彼等は根柢を知らぬ、外國の文物は輸入するが善惡を見わける智識がない。滔〻として我國は奈落に沈んで行くより致し方があるまい。（續く）

結婚自廢娼妓告發

△警察の揚足取り

兵庫縣に起りたる結婚自廢は直に福井市に飛んで、同市内榮新地開進亭抱娼妓丸子事、原籍富山市総曲輪平民堀田某女の馴染客なる福井縣吉田郡中藤島村字燈明寺僧侶某と客月二十一日戸籍法によつて結婚し、自由廢業をなしたるが、右手續を履行し純然たる人妻となりたるに拘はらず、其筋へ娼妓名簿削除申請を怠り居たるよしにて、藤井署田中巡査の爲めに娼妓取締規則違反者として告發の手續きをなしたりといふ、●●●●●●●●●●●●●さりとは遊廓に對する忠實振り感歎の外なし。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廓清會第四回總會の記

七月四日、神田青年會館に於て廓清會第四回總會を開く、

△報告會

午後二時半、荒木眞弓氏座長席に就き開會、益富理事より三年度の事業報告あり（記事の都合により次號に）山本理事より別項の會計報告ありて各地支部よりの祝電を朗讀し、

△協議會

に入り、高島米峰氏、福島四郎氏、石田友治氏、松宮彌平氏、益富政助氏、群馬支部の森川抱次氏、曾根正藏氏、其他の諸氏より種々の說出でゝ熱心に討議を重ね、此時安部副會長來會せられたるを以て、荒木氏は安部氏に議長席を讓り、コーツ博士亦來會せられ、第二次の內務省當局者との會見を今秋に於て行ひ、必ず或程度の成功を期すること、毎月一回東京に於て演說會を催すこと、地方開發の方針を執る事等を協議し、森川抱次氏より群馬縣の風敎狀態に就て說明せらるゝ處ありて、

△役員選擧

に移り、來會者中より議長指名の下に委員を擧げ、之に現任理事を加へて役員推選の件を一任する事とし、

△晩餐會

を開く、吉原と淺草問題、盆踊りの是非、兒童掃除問題等に就て快談に時を移し、六時半に至り

△大演說會

を開く、益富政助氏開會の辭を述べ、第一席高島米峰氏『公娼廢止の先決問題』と題して例の縱橫の警句に諧謔を加へて快辯滔々婦人の覺醒を促し、第二席元田作之進氏は、肺結核と、酒と、癩病と、花柳病とは人類を滅亡に導くものである事より說き起して、貞潔の思想を高調して滿場の喝采を拍し、第三席堀越善重郎氏は、謹嚴の態度を以て『多妻主義の國家を衰亡す』と題し、我國の實業界の弊風を慨し、蓄妾の陋習を歎じて健實なる產業の發達を促されたるは、混濁の甚しき實業界に森村翁と共に氏の如き人を得たる事を歎喜せずんば非ず、第四席內ケ崎作三郎氏は『歐洲戰亂と國民道德』と題し、文明とは性殖細胞の變形也と喝破して、明快に貞潔の必要を痛論し、非常なる喝采を浴び、最後に安部磯雄氏は『貞操問題に就て』と題して別項の如き演說ありて聽衆に多大の感動を與へ、十時閉會した。

七月と云へば最早演說會の時候でない上に、當日は生憎雨催ひの空色に二の足を踏む者が多かつたらうと思はれたに不拘、滿堂の盛況にて、珍らしく議會の影響を受けたものか數名の野次ありて稍喧騷を見たりしが、益富氏は巧妙に彼等の機鋒を挫いて殆んど閉息せしめた。けれども一方からいふと爲めに却つて活氣ある集合となつた感がある。會員以外の者に對しては入場料五錢づゝを徵して、三十二圓、雜誌及廢業案內の賣上約三圓を得、即時入會申込者四十二名に及んだ。

尙總會出席者中、宮城縣の熱心家尾形京三氏、群馬縣の森川抱次氏、千葉縣の市川宮次氏茅ケ崎の宇津木勢八氏等を始め遠隔の地より、遙々來會せられし者少からざりしは感謝に堪ざる處である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

大正三年度收支決算報告

（自大正三年四月至同四年三月）

收入之部

贊助員收入	五一六、六〇〇円
正會員收入	一、三一八、七一〇
雜誌トラクト收入	一〇八、〇一〇
廣告收入	七七、八〇〇
入場料收入	四二、五五〇
寄附金收入	四八、四〇〇
雜收入	三、七一〇
現金（前年度繰越）	一三七、〇八五
保證金（同　上）	二三、六〇〇
振替口座基本金（同上）	一〇、〇〇〇
計	二、二八六、四六五

支出之部

雜誌費	一、二二九、二七〇
編輯費	一〇一、一二〇
印刷製本費	八四六、七四〇
發送費	二八一、〇一〇
雜費	〇、四〇〇
集會費	一三四、二四〇
通信及運搬費	三、八〇〇
交通及旅費	一一、八五〇
廣告及印刷費	四三、五一〇
文具及消耗品費	五、二〇〇
會場費	二三、八〇〇
謝禮費	一三、〇〇〇
雜費	三三、〇八〇
出版費	五五、五五〇
トラクト出版費	五五、五五〇
事務費	八〇六、一〇五
通信費	四五、二八五
交通運搬費	九〇、四二〇
文具消耗品費	一九、八二〇
備品費	〇、八五〇
圖書費	七、三五〇
印刷廣告費	三七、六〇〇
旅費	一一、三七〇
振替口座使用料	六七、四五〇
俸給及諸給	四六〇、〇〇〇
事務所費	六〇、〇〇〇
雜費	五、九六〇
振替口座基本金（大正四年度へ越）	一〇、〇〇〇
保證金（同　上）	二三、六〇〇
現金（同　上）	二七、七〇〇
計	二、二八六、四六五

財產目錄

現金在高	二七、七〇〇
保證金	二三、六〇〇
振替口座基本金	一〇、〇〇〇
備品（買入價格）	四一、八五〇
グレゴリー氏著述（實價）	五〇、〇〇〇
娼妓自由廢業案內（實價）	五〇、〇〇〇
計	二〇三、一五〇

▼全國の廓清會員に檄す

諸君、廓清會創立以來既に茲に四星霜にして、會員の數未だ遙に萬に遠きは誠に遺憾の至りといはねばならぬ。而も本會の顧問は內閣總理大臣たり會長は衆議院議長たり、廓清會は惠まれたりの感があるではないか。實に今日は本會にとりて活動上最大の好期である。斯かる機會は再び得られざるやも未だ知る可からず、吾人は會員諸氏が此の滿潮に掉さして、勇奮一番、會運の發展の爲めに努力を惜まれざらん事を熱望する。

其手段の第一として最も簡單にして而も偉大なる結果を收め得るは、救世軍の所謂『人一人運動』にして忽にして會員を倍加し、輿論の勢力を作る事を得ん。各人が自己の周圍より唯一人の同志の士女を作るが如きは何でもなき事なる可く、苟も本會に籍を置かるゝ者は、それ位の義務は月を出ですして果されん事を切にお願する。

更に進んでは支部又は分會を組織し、なるべく勢力を集中して、地方々々の風教問題に當らるゝ樣にしたい事である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

熱血紅涙

阿部涙香君（山形）　拜啓每號本會の目覺しき奮勵振りを拜見仕り愉快に不堪候。偖小生一友人先日妻を離別いたしたるを聞き如何なる仔細なるかと內々取調べたるに、無實なる姦通沙汰を以てした。嗚呼其妻は目下妊娠五ケ月の身にてあるなり、依つて何とかして元の如く平和なる家庭に致したきものと、本紙三號の新判例を示し、離婚の容易ならざるものと成し、五月號の離婚問題を示し、離婚より來る損害を說き、況して姦通罪とは少しも實のなき事なるを辯解し、圓滿なるホームを作らるゝ樣に話致したるに、先日訪問せられ呼戾す樣したる由語られ候。之偏へに貴會の賜と深く感謝すると共に、事小なりと雖も廓清の力により破れんとする中を圓滿に解決せられたるを喜び、本會の爲めに微力を盡さんと心掛け居候。

福井顯吉君（大阪）　小生は去二月當地に演說會の開かれたるを動機とし入會致したる者なるが、其後思想の漸次純潔に向ひつゝあるは是れ御會の賜と深く感謝致し候。尙度々各地に演說會を開き輿論の喚起に努められん事を切望仕候。

松田秀作君（山形）　先日は自由廢業案內御送附に預り、內容拜見仕り如何にもして可憐なる同胞を救はんと心掛居候。本日太田君に逢ひ話し致候處、先日分會設立につき會長殿より御督促に相成候趣、兎角延引勝に相成何とも申譯無御座候、今頃は疾うに設置仕るべき心組に候ひしも、養蠶の眞最中田植と農家は目も廻る程に候て目下收繭と除草とにて茲一週間の後には暇になるべく、又本月十日は徵兵檢査にて、太田君と小生と、阿部林藏君、工藤三之助君、長岡安藏君伊藤兵三郎君の六名當地廓清會員にして丁年に候。從來檢査の前夜は壯丁の過半數登樓し、疾病を感染し一生を過る者比々として有之其筋よりも登樓せざるやう達し有之候程にて、我々會員は極力其惡風を一掃せんと相談いたし居候。何れ其結果は如何になり行くや、從來と比較し、御報知可申上候。檢査後は少しく農家も暇になるべく、其中發會式を擧ぐる覺悟に有之候。

中山國三君（吳）　此度別紙の如き運動相始め申候に就ては、御心添へ御應援のほど願上候。もし御西下相成り候機會も有之候はゞ、必ず御立寄御援助願上候。出來れば一夜廓清の爲め、一夜は說教會を願度存候。

山口重義君（大阪）　每度御訓導の勞をとり下され誠に難有御禮申上候。何卒愈々本會の發展と成功とを痛切に熱禱仕り、雜誌は今般表記の處宛に願上候。

大倉芳村君（岡山）　現代風敎の頹廢は、種々の形を以て吾人の面前に常に暴露せられつゝあるに關らず、神經の遲鈍なるが爲めか良心の痲痺せるが爲めか一人の之が爲めに立つて社會人心の廓清を促す義人の出でざるは、余の窃に痛歎しつゝある處に候ひき、殊に教育の任にある者にして恬然足を狹斜の巷に入れ、一町の儀表となるべき位地にある身分にして、淺唱低酌の快を公然として口にする者のみなるは何等の醜ぞや。此時に當つて東都に廓清會の活動あり、吾人の耳朶に迅雷の如き共鳴を感じ、直に入會の手續を致候次第。希くば當地方にも貴會の勢力によつて覺醒の警鐘を高打いたし度きものに候。

小田榮次郎君（芝）　尊會益々御隆盛の趣にて島田會長始め各位彌々御勇健の段大慶の至りに御座候。扨今回小生の尊會に對する怠慢の罪を赦され、更に亦茲に一口宛獻金なすの機を與へられ候、御來書に就ては如何にも難有次第と感謝奉り候。何卒不相變御指導を願上候。

無名氏君（大阪）　六月廿日大阪每日新聞に某醫學博士夫人談として別封の文章が載つて居る。藝娼妓は社會に貢獻する者であるとの意ありて、ぶら〳〵して無職であるよりは、盜賊の職業でも增しであるとの意に取れる、上流の婦人が斯かる間違つた事を大膽に發表してゐるとは氣の毒な事である。

會費の納入

從來會費はすべて前金に納入せらるべき筈なるに滯納の向少からざるは遺憾也僅少なる金額の事故なるべく督促を受くる事なきやう御注意相成り度し

振替東京二一七〇七二番

東京市芝區三田四國町惟一館內

廓清會本部

電話芝五八五五番

大阪支部員

の會費に限り左記の處へ御拂込を乞ふ

大阪市北區中ノ島六丁目六番地

廓清會大阪支部

大正四年七月十四日納本　一部定價金六錢
大正四年七月十五日發行（每月一回十五日發行）

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　神田區三河町一丁目十四番地　小林照雄
印刷所　神田區三河町一丁目十四番地　丸利印刷所
發行所　神田區美土代町三丁目三番地　廓清發行所

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY